Canon

Satera PIXEL L

リモートUIガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

●ご確認ください
プリントサーバ NB-4F および CP660/680 LIPS-B1 をお使いのお客様は、プリントサーバ NB-4F または内蔵プリントサーバのバージョンが 2.00 以上でないとリモート UI を使用することはできません。
バージョンはステータスプリントで確認することができます。
ステータスプリントの実行方法は、プリンタまたはプリンタボードに付属の取扱説明書を参照してください。
プリントサーバ NB-4F または内蔵プリントサーバのバージョンアップ方法はキヤノン販売株式会社のホームページを参照してください。
キヤノン販売株式会社　ファームウェアアップデートページ：
http://cweb.canon.jp/drv-upd/nic/index-j.html

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

目次

第４章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

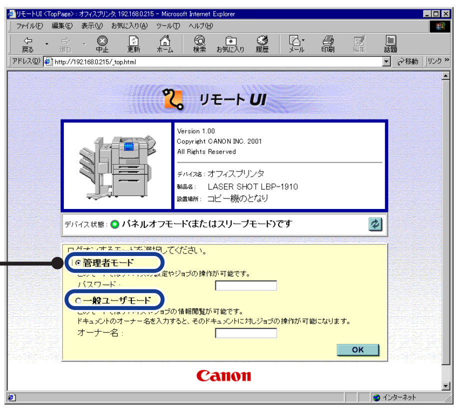
メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

画面について

本書で使われている画面は、特にお断りが無い限り、LBP-1910 にステイプルスタッカ、2000 枚ペーパーデッキ、両面ユニット、封筒フィーダ、ハードディスクが装着されている場合のものです。オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、Web ブラウザ上には表示されませんが、ご了承ください。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

1 ［管理者モード］または［一般ユーザモード］を選択します。



操作時にクリックするボタン

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system：	Windows
キヤノン内蔵型プリントサーバ NB-4F：	プリントサーバ NB-4F
キヤノン内蔵型プリントサーバ NB-5F：	プリントサーバ NB-5F
キヤノン CP LIPS-B1：	CP LIPS-B1
キヤノン CP LIPS-C1：	CP LIPS-C1
CP LIPS-B1 が内蔵された クリエイティブプロセッサー 660/680：	CP660/680 LIPS-B1
CP LIPS-C1 が内蔵された クリエイティブプロセッサー 680：	CP680 LIPS-C1

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。
Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
Apple、AppleTalk、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。
Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です
ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1

CHAPTER

お使いになる前に

この章では、リモート UI の特長やリモート UI を使用できるシステムの環境について説明しています。

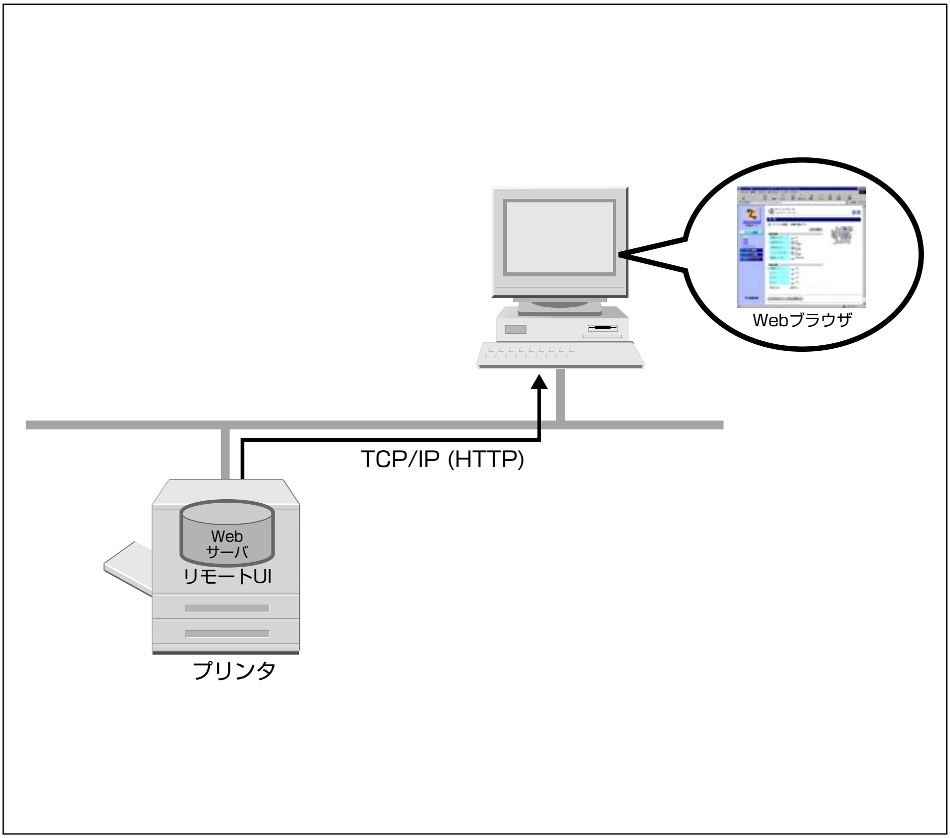
リモート UI の特長

リモート UI は､お手持ちの Web ブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プリンタの状況の確認やジョブの操作、各種設定などができます。リモート UI には、以下のような特長があります。

メモ　リモート UI の表示画面および操作･設定できる内容は､プリンタの機種やオプションの装着状況によって異なります。詳しくは､「第 3 章　リモート UI のいろいろな機能」を参照してください。

■ **Web ブラウザ以外のソフトウェアは必要ありません**

リモート UI を使用するためのソフトウェア（Web サーバ）は本プリンタに内蔵されていますので、Web ブラウザ以外のソフトウェアを用意する必要はありません。Web ブラウザを起動してプリンタの IP アドレスを指定すると、リモート UI の画面が表示され、リモート UI を使えるようになります。



■ ネットワーク上のパソコンからプリンタの状況を確認できます

リモート UI は、ネットワーク経由でプリンタにアクセスして、現在の状況や各種情報、ジョブの処理状況などを表示させることができます。プリンタの前に行かなくても、離れた場所からパソコンでプリンタを管理できます。



■ **プリンタのさまざまな設定や操作がパソコンからできます**

リモート UI では、ジョブの停止や再開、ボックス内のジョブの操作、各種設定などができます。プリンタの操作パネルを使用しなくても、パソコンからプリンタの設定をしたり操作したりすることができます。また、管理者モードと一般ユーザモードがあり、プリンタの管理に関わるような設定や操作は管理者のみが行えるようになっています。



必要なシステム環境

リモート UI は、以下のシステム環境での動作を保証しています。

Web ブラウザ	Netscape Navigator 4.7 以降 Internet Explorer 4.01SP1 以降
OS	上記の Web ブラウザが動作する OS
ディスプレイ	解像度：800 × 600 ピクセル以上 表示色：256 色以上

メモ　Web サーバなど、上記以外のソフトウェアは必要ありません。（Web サーバはプリンタに内蔵されています。）

2
CHAPTER

リモート UI を使用するには

この章では、リモート UI の起動方法や画面の構成について説明しています。

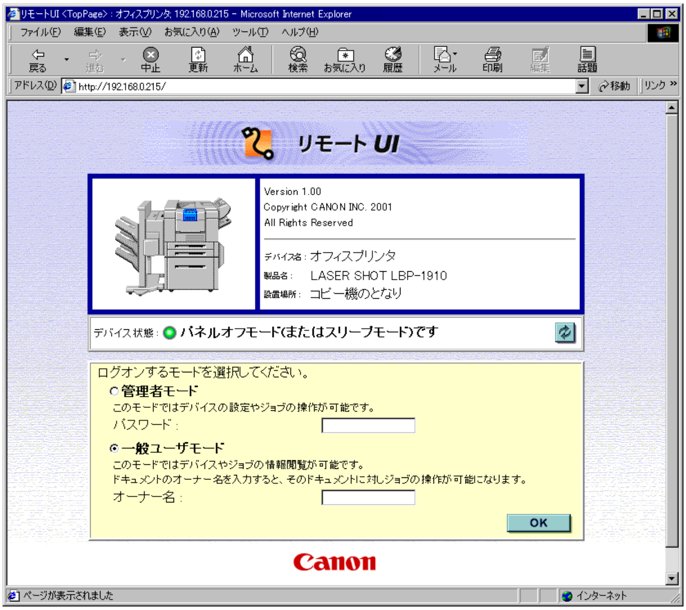
リモート UI を起動する

Web ブラウザを使って、リモート UI を起動します。

1 Web ブラウザを起動します。

2 ［アドレス］または［場所］に以下の URL を入力します。

http:// ＜本プリンタの IP アドレス＞ /



リモート UI の画面が表示されます。

重要

- 本プリンタの IP アドレスがわからないときは、管理者に相談してください。
- DNS サーバにプリンタのホスト名が登録されているときは、IP アドレスのかわりに［ホスト名 . ドメイン名］で入力することもできます。
  例：http://my_printer.xy_dept.company.co.jp/
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なりますので、ネットワーク管理者に相談してください。）
  ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

お使いの環境によっては、上記の操作をしてもリモート UI の画面が表示されないときがあります。このようなときは、［アドレス］または［場所］に「http://＜本プリンタの IP アドレス＞ /cab/_top.shtml」を入力して、ページを表示しなおしてください。

リモート UI にログオンする

リモート UI にログオンします。管理者モードまたは一般ユーザモードのどちらかでログオンします。

■ 管理者モード

管理者モードでログオンすると、リモート UI のすべての操作および設定が可能です。ログオンするときには、デバイス管理 ー［情報］ページの「セキュリティ」（→ P.3-11）で設定したパスワードの入力が必要です。

メモ

- パスワードは NetSpot Console でも設定することができます。NetSpot Console でデバイスパスワードを設定してある場合は、リモート UI にログオンするときにそのパスワードを入力します。リモート UI のパスワードと NetSpot Console のデバイスパスワードは同じものです。
- 工場出荷時、パスワードは設定されていません。パスワードを入力しないでログオンしてください。

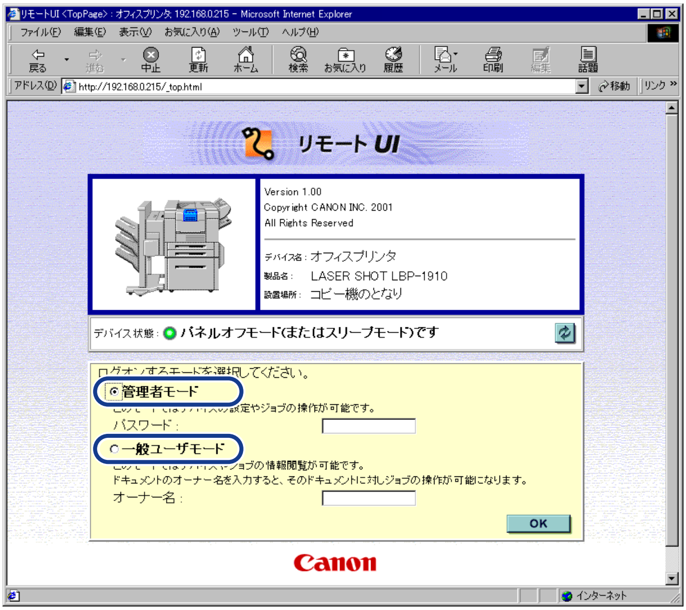
■ 一般ユーザモード

一般ユーザモードでログオンすると、デバイスの状態の確認、設定の確認、ジョブの閲覧などが可能です。「オーナー名」を入力しなくてもログオンすることはできますが、入力することで、オーナー名が一致するジョブの操作が可能になります。

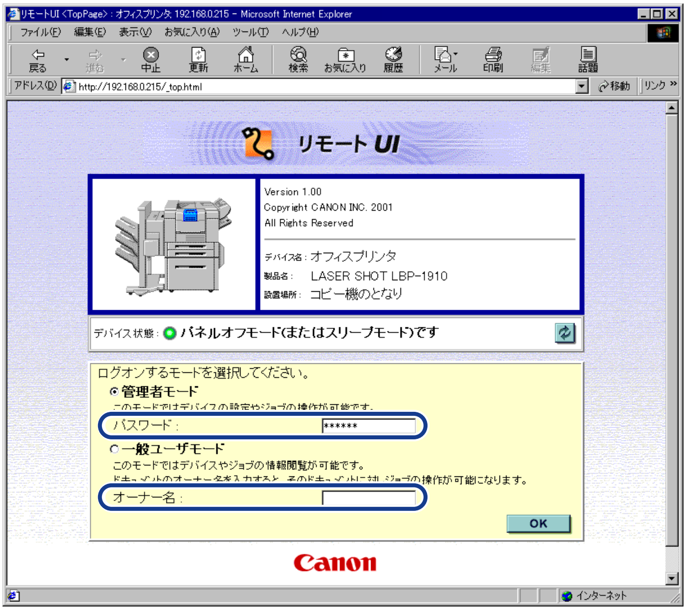
メモ

入力する「オーナー名」はコンピュータにログオンしたときに入力したユーザー名になります。ただし、Macintosh の場合は、コントロールパネルの「ファイル共有」の「ネットワーク ID」欄にある「所有者の名前」になります。

1 ［管理者モード］または［一般ユーザモード］を選択します。



2 ［管理者モード］を選択した場合は「パスワード」を入力し、［一般ユーザモード］を選択した場合は、必要に応じて「オーナー名」を入力します。



3 ［OK］ボタンをクリックします。

リモート UI にログオンします。

リモート UI の画面構成

リモート UI にログオンすると、次のような画面が表示されます。



■ 左側に表示されるボタン



リモート UI のトップページ（ログオンページ）に戻ります。



［デバイス管理］メニューが表示されます。［デバイス管理］メニューには、［状態］、［情報］、［装備］*、［ネットワーク］ページがあります。



［ジョブ管理］メニューが表示されます。［ジョブ管理］メニューには、［印刷ジョブ］、［保存ジョブ］*、［印刷履歴］ページがあります。



* ［デバイス設定］メニューが表示されます。［デバイス設定］メニューには、［拡張機能］、［給排紙］、［レイアウト］、［印字調整］ページがあります。



［サポートリンク］ページが表示されます。

*機種によっては表示されません。

■ 右側に表示されるボタン



表示中のページを最新の情報に更新します。リモート UI では、表示中のページは自動的に更新されません。このボタンをクリックして、デバイスに関する最新の情報を取得します。



表示中のページのヘルプが表示されます。ヘルプは別ウィンドウに表示されますので、見終わったら閉じてください。



スクロールした状態のページを一番上に戻します。



ひとつ前のページに戻ります。

リモート UI のいろいろな機能

3
CHAPTER

この章では、リモート UI で表示できるプリンタの情報や設定できる内容について説明しています。

プリンタの状態を表示・管理する（デバイス管理）

リモート UI では、プリンタから情報を取得することにより、現在のプリンタの状態や情報を表示することができます。また、管理者モードでログオンした場合、ユーティリティのプリントやセキュリティ、ネットワーク設定の変更などをリモート UI から行うことができます。デバイス管理は以下の 4 つのページがあります。

■［状態］ページ

プリンタの現在の状態が表示されます。ステータスプリント、ソフトリセットなどの操作もすることができます。

■［情報］ページ

デバイス名や設置場所の情報やセキュリティ情報が表示されます。電子メール通知の設定もすることができます。

■［装備］ページ

オプションの装備情報や RAM の空き容量などが表示されます。

■［ネットワーク］ページ

ネットワークの設定状態が表示されます。プリントサーバをリセットしたりネットワーク設定を変更することもできます。

メモ　機種によっては、［装備］ページは表示されません。

現在の状態を表示する

プリンタの用紙残量や排紙状況など、現在の状態を表示します。管理者モードでログオンした場合、ステータスプリントやソフトリセットもすることができます。

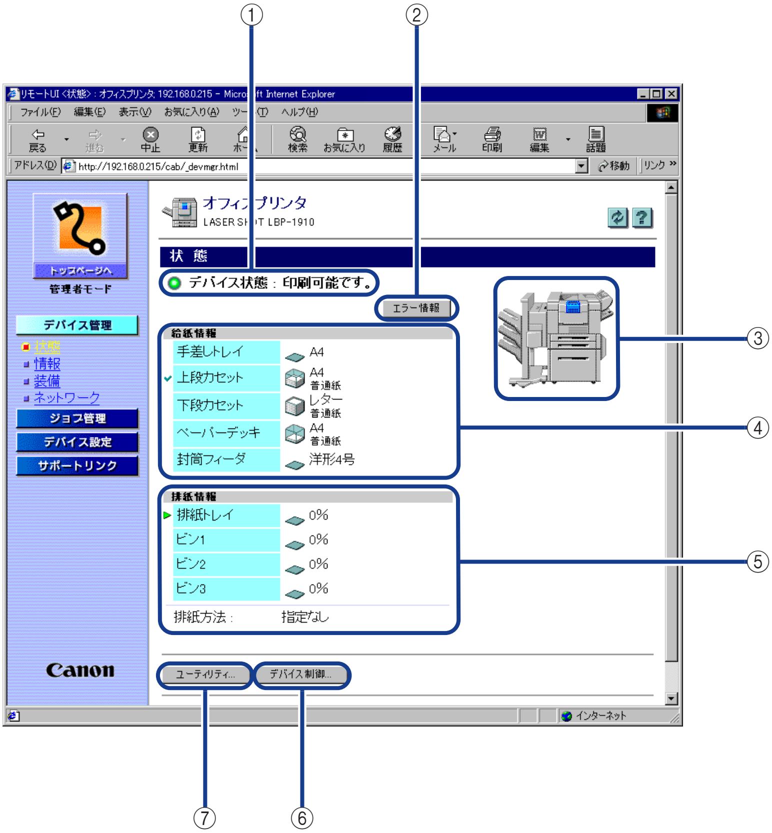
表示手順

1 ［デバイス管理］メニューから［状態］を選択します。



デバイス管理の［状態］ページが表示されます。

[状態] ページの構成



①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
リモートUI <状態> : オフィスプリンタ 192.168.0.215 - Microsoft Internet Explorer
http://192.168.0.215/cab/_devmgr.html
オフィスプリンタ
LASER SHOT LBP-1910
状態
デバイス状態：印刷可能です。
エラー情報
トップページへ
管理者モード
デバイス管理
状態
情報
装備
ネットワーク
ジョブ管理
デバイス設定
サポートリンク
給紙情報
手差しトレイ
A4
上段カセット
A4
普通紙
下段カセット
レター
普通紙
ペーパーデッキ
A4
普通紙
封筒フィーダ
洋形4号
排紙情報
排紙トレイ
0%
ビン1
0%
ビン2
0%
ビン3
0%
排紙方法：
指定なし
Canon
ユーティリティ...
デバイス制御...

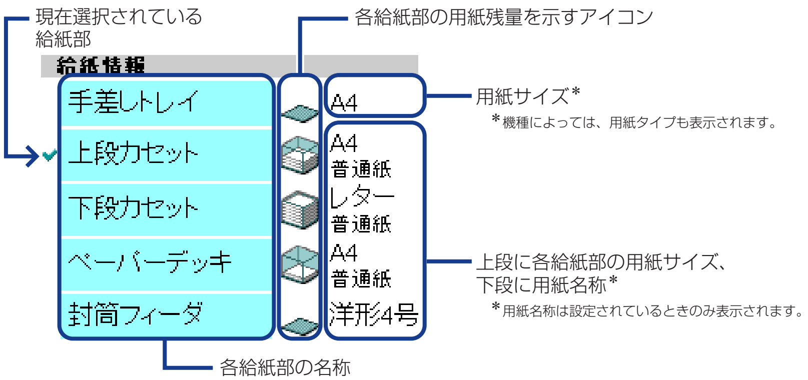
① デバイスの状態
インジケータおよびステータスメッセージで現在のプリンタの状態を表示します。以下のようにインジケータの色でプリンタの状態がわかります。

インジケータの色	プリンタの状態	対処方法
（灰色）	プリントデータを受けつけない状態（プリンタのウォームアップ中、オフライン状態など）	しばらく待ってから、プリントしてください。オフライン状態の場合は、オンラインにして、プリントしてください。
（緑色）	正常な状態（プリントできる状態）	
（黄色）	プリントに支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告メッセージが表示されている状態）	［エラー情報］をクリックして、表示されている指示にしたがって対処してください。
（赤色）	何らかの理由でプリントが不可能な状態（エラーメッセージが表示されている状態）	
（赤色点滅）	プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった状態（サービスコールが表示されている状態）	プリンタまたはプリンタボードに付属の取扱説明書を参照してください。

② エラー情報
クリックするとプリンタで発生しているエラー情報を表示します。

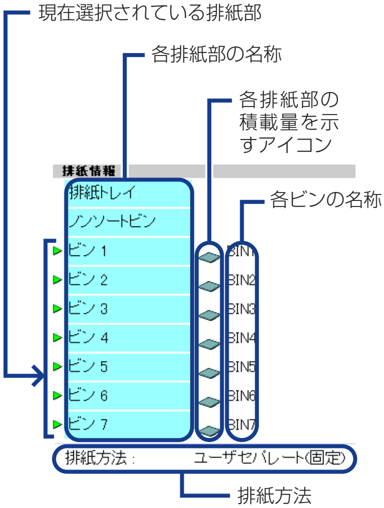
③ デバイスの外観
プリンタの外観イメージを表示します。給紙オプションや排紙オプションの装備状況に応じて、表示されるイメージが変わります。

④ 給紙情報
給紙部に関する状態を表示します。

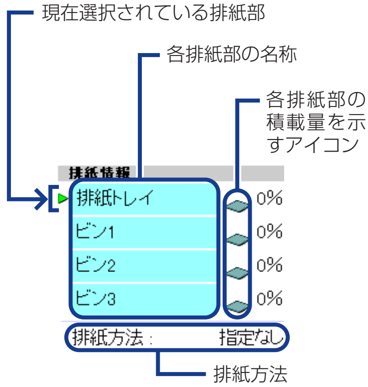


⑤ 排紙情報
排紙部に関する状態を表示します。（機種によっては、排紙情報は表示されません。）

7ビンソータの場合



ステイプルスタッカの場合



⑥ デバイス制御
ソフトリセットなどのデバイス制御を実行するページを表示します。デバイス制御は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「デバイス制御を実行する」（→ P.3-7）を参照してください。

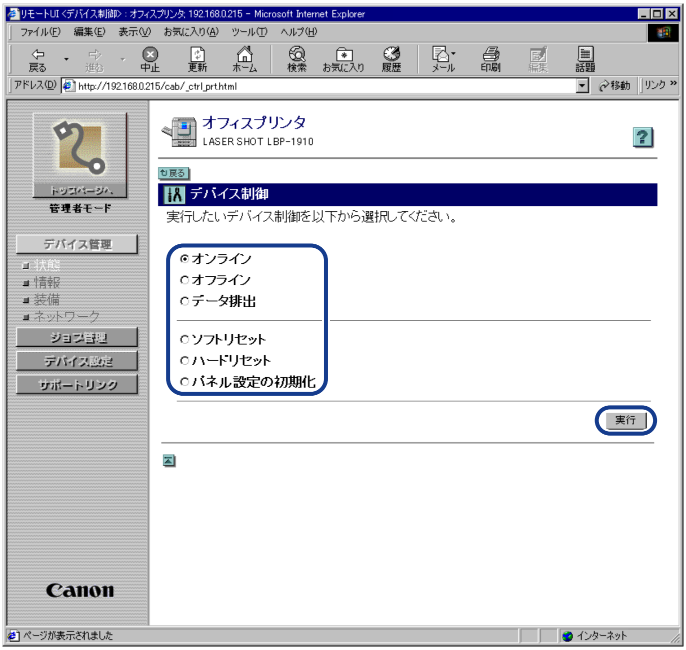
⑦ ユーティリティ（機種によっては、ユーティリティは表示されません。）
ステータスプリントなどのユーティリティを実行するページを表示します。ユーティリティは管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「ユーティリティプリントを実行する」（→ P.3-8）を参照してください。

デバイス制御を実行する

［状態］ページで［デバイス制御］ボタンをクリックすると、ソフトリセットなどを実行する［デバイス制御］ページが表示されます。

メモ　デバイス制御は、管理者モードのみ実行可能です。

1 表示されているデバイス制御から実行したいデバイス制御を選択して、［実行］ボタンをクリックします。

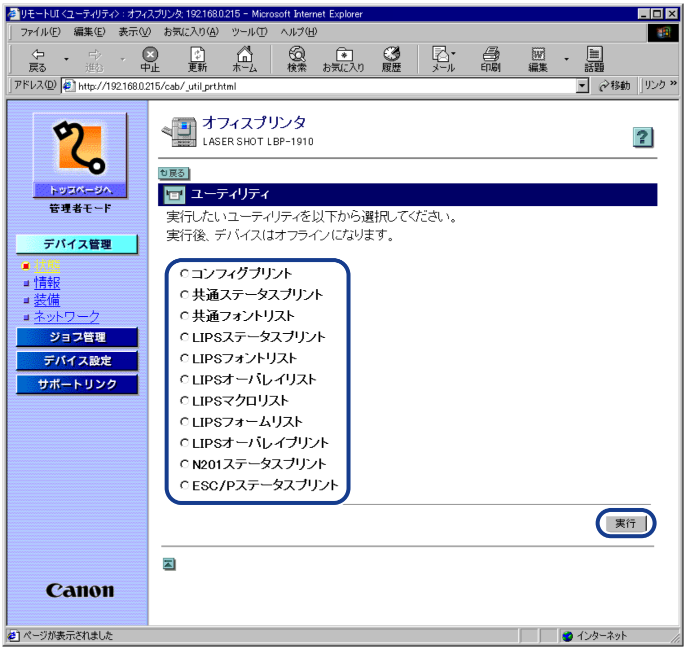


ユーティリティプリントを実行する

［状態］ページで［ユーティリティ］ボタンをクリックすると、ステータスプリントなどをプリントする［ユーティリティ］ページが表示されます。

メモ
- ユーティリティは、管理者モードのみ実行可能です。
- 機種によっては、ユーティリティは実行できません。

1 表示されているユーティリティから実行したいユーティリティを選択して、［実行］ボタンをクリックします。



プリンタの情報を表示・変更する

プリンタの設置場所や管理者の情報などを表示します。管理者モードでログオンした場合、ジョブの終了時やプリンタでエラーが発生したときに、指定した宛先に電子メールで通知する設定もすることができます。

表示手順

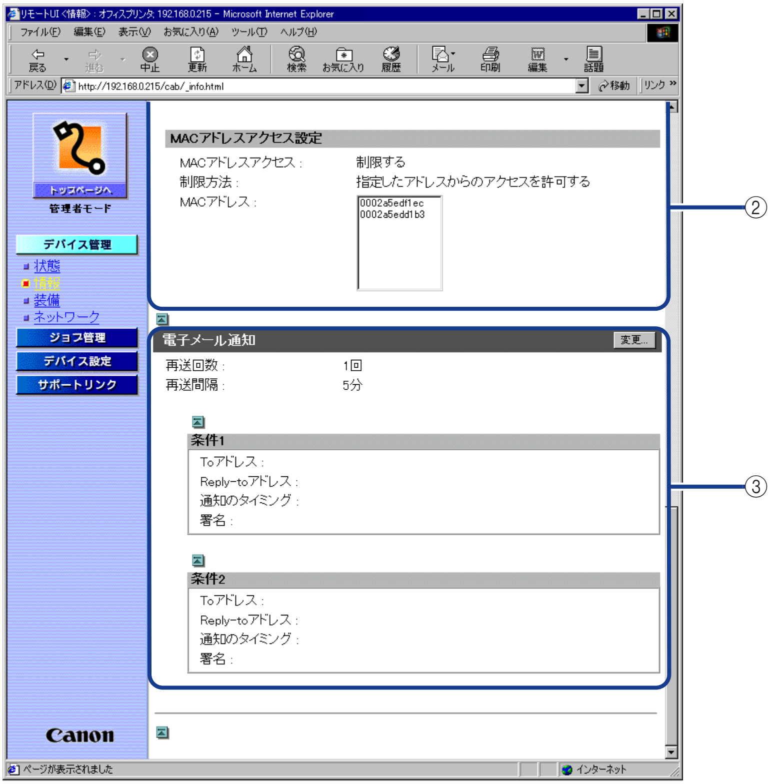
1 ［デバイス管理］メニューから［情報］を選択します。



デバイス管理の［情報］ページが表示されます。

［情報］ページの構成


リモートUI <情報> : オフィスプリンタ 192.168.0.215 - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷 編集 話題
アドレス(D) http://192.168.0.215/cab/_info.html
移動 リンク
トップページへ
管理者モード
デバイス管理
状態
情報
装備
ネットワーク
ジョブ管理
デバイス設定
サポートリンク
Canon
オフィスプリンタ
LASER SHOT LBP-1910
情 報
デバイス情報
変更...
デバイス名 : オフィスプリンタ
設置場所 : コピー機のとなり
トナーカートリッジ型番 : EP-72
管理者名 : 鈴木
管理者連絡先 : 03-1234-5678
管理者コメント : xxxxxxxxxxxxxxxx
製造会社 : キヤノン株式会社
製品名 : LASER SHOT LBP-1910
製品バージョン : R1.02/GER1J019
セキュリティ
変更...
管理者パスワード : **********
一般ユーザによるジョブ操作 : 許可する
SNMP設定
SNMPv1を使用 : オン
アクセス権限 : ReadWrite
コミュニティ名 : public
SNMPv3を使用 : オン
IPP認証
IPP認証を使用 : オン
ユーザ名 : tester
IPアドレス範囲設定
TCP/IP印刷を制限する : 制限する
制限方法 : 指定したアドレスからの印刷を許可する
IPアドレス : 222.111.10.8
222.111.111.200-222.111.111.233
SNMP設定/参照 : 制限しない
制限方法 : 指定したアドレスからのSNMP設定/参照を拒否する
IPアドレス : 222.111.10.8
222.111.111.200-222.111.111.233
ページが表示されました
インターネット
①
②



① デバイス情報
プリンタの一般情報を表示します。右上の［変更］ボタンをクリックすると、デバイス情報を変更するページが表示されます。デバイス情報の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「デバイス情報を変更する」（→ P.3-12）を参照してください。

② セキュリティ
プリンタが持つ管理者パスワードの設定やアクセス制限などセキュリティの設定および一般ユーザによるジョブ操作権限の情報を表示します。右上の［変更］ボタンをクリックすると、セキュリティ設定を変更するページが表示されます。セキュリティ設定の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「セキュリティ設定を変更する」（→ P.3-13）を参照してください。

③ 電子メール通知
プリンタが持つ電子メール通知設定の情報を表示します。右上の［変更］ボタンをクリックすると、電子メール通知設定を変更するページが表示されます。電子メール通知設定の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「電子メール通知設定を変更する」（→ P.3-35）を参照してください。

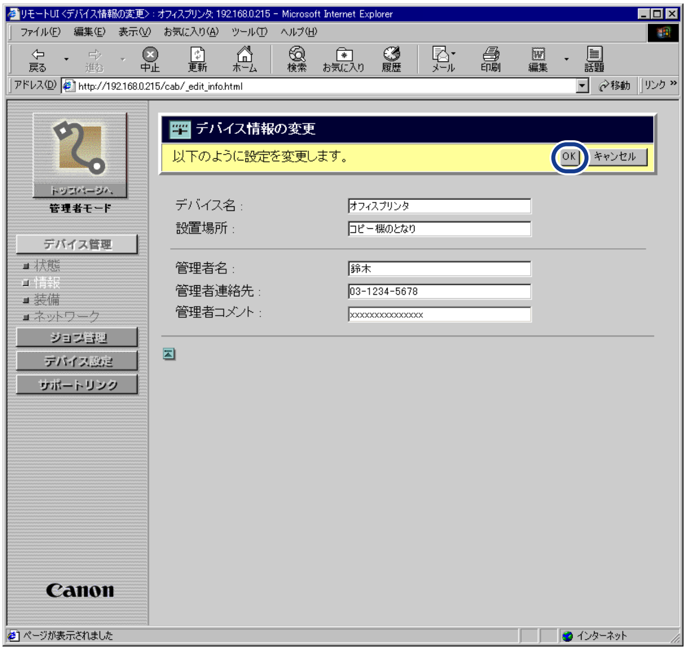
デバイス情報を変更する

［情報］ページでデバイス情報の［変更］ボタンをクリックすると、デバイス名や管理者情報を登録・変更する［デバイス情報の変更］ページが表示されます。

メモ　デバイス情報の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 デバイス情報の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。



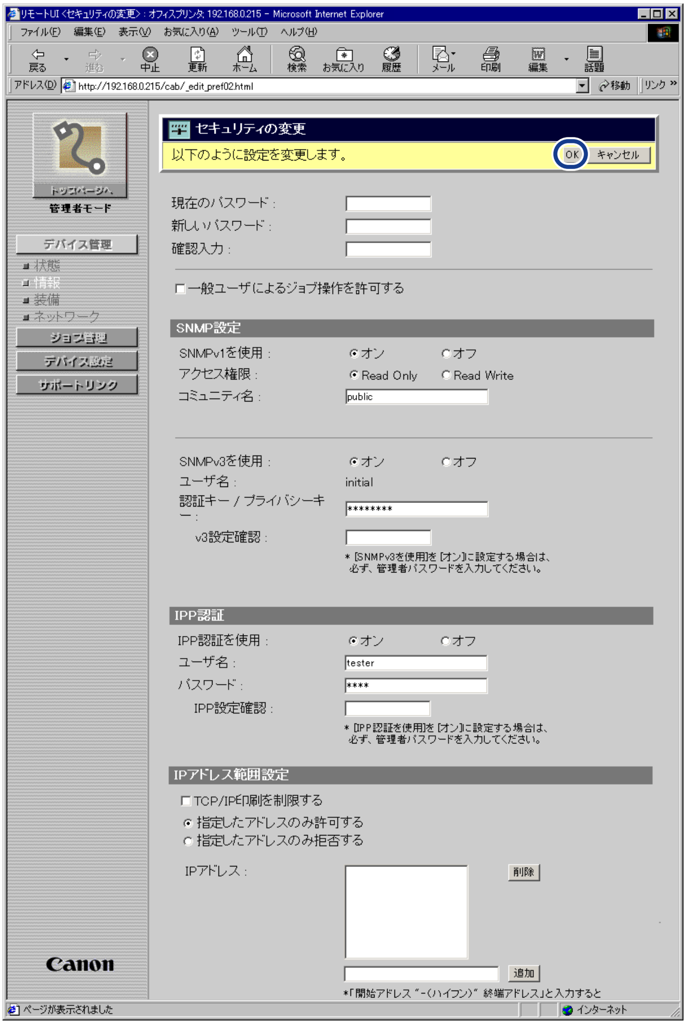
セキュリティ設定を変更する

［情報］ページでセキュリティの［変更］ボタンをクリックすると、管理者パスワードの設定やアクセス制限などセキュリティの設定および一般ユーザによるジョブ操作権限の変更を行う［セキュリティの変更］ページが表示されます。

メモ
- 一般ユーザのジョブ操作を許可すると、ユーザがログオンした名前（オーナー名）の印刷ジョブの操作が可能になります。
- セキュリティ設定の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 セキュリティ設定の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。



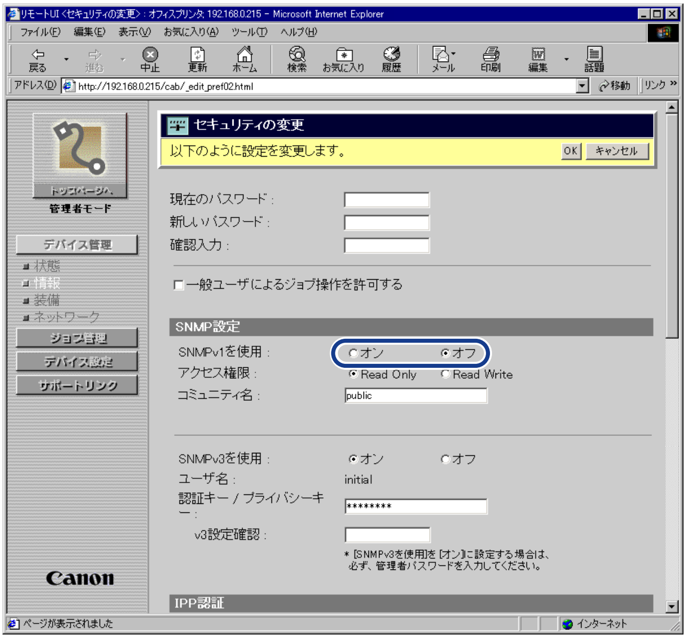
■SNMPv1 プロトコルからのアクセス制限とコミュニティ名の設定のしかた

メモ

- 機種またはプリントサーバのバージョンによっては、設定できません。
- ［SNMPv1 を使用］を［オン］にした場合、SNMP プロトコルで設定 / 参照できるユーザを制限することができます。詳しくは、「SNMP プロトコルで設定 / 参照できるユーザを制限する設定のしかた」（→ P.3-27）を参照してください。

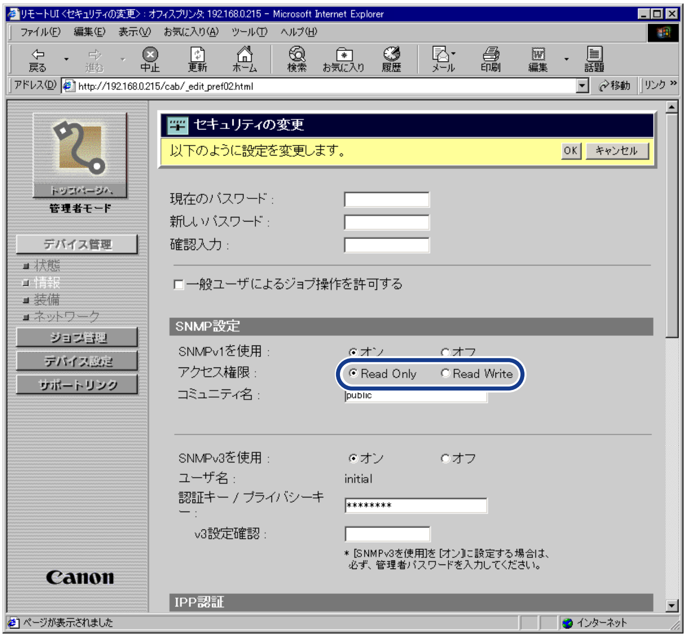
1 ［SNMPv1 を使用］の［オン］または［オフ］を選択します。

［オン］を選択すると、SNMPv1 プロトコルからのアクセスを許可します。
［オフ］を選択すると、SNMPv1 プロトコルからのすべてのアクセスを拒否します。



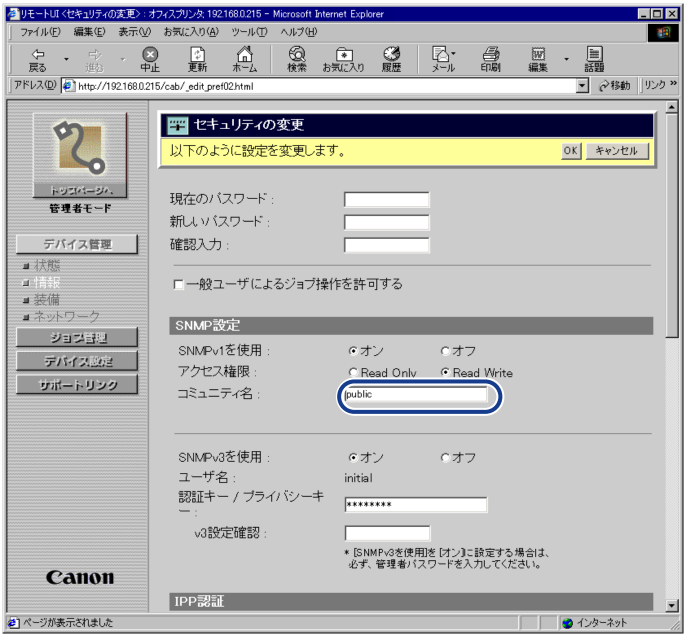
2 ［アクセス制限］の［Read Only］または［Read Write］を選択します。

［Read Only］を選択すると、SNMPv1 エージェントは、有効なコミュニティ名で「get」、「getnext」のアクセスが可能になります。
［Read Write］を選択すると、SNMPv1 エージェントは、有効なコミュニティ名で「get」、「getnext」および設定可能なオブジェクトに対して「set」のアクセスが可能になります。



3 [SNMPv1 を使用] で [オン] を選択した場合、[コミュニティ名] に SNMP のコミュニティ名を入力します。

[コミュニティ名] には、32 文字までの半角英数字を入力できます。工場出荷時は「public」に設定されています。



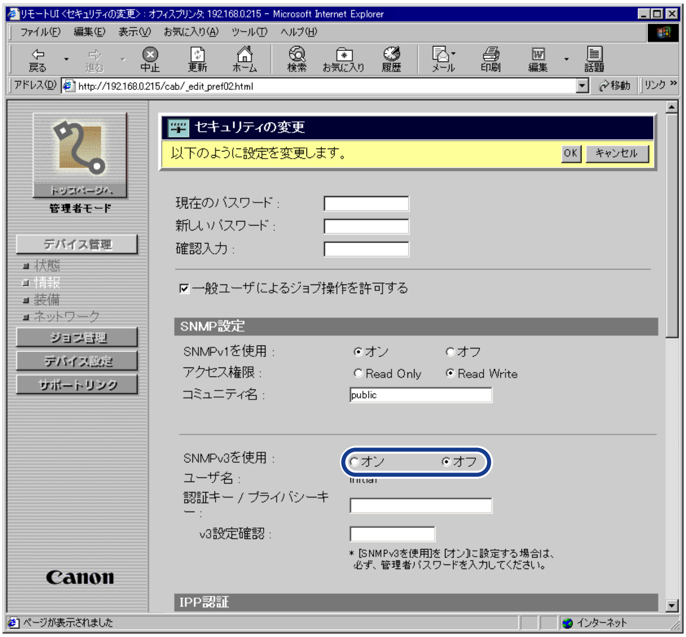
■SNMPv3 プロトコルからのアクセス制限の設定のしかた

メモ

- 機種またはプリントサーバのバージョンによっては、設定できません。
- SNMPv3 の設定をリモートUI 以外の SNMPv3 管理ソフト等で変更した場合、セキュリティのため、[ユーザ名]、[認証キー / プライバシーキー]、[v3 設定確認] の項目は表示されなくなります。再度表示するには、プリントサーバの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。詳しくは、「プリントサーバを初期化する」(→ P.3-40) を参照してください。

1 [SNMPv3 を使用] の [オン] または [オフ] を選択します。

[オン] を選択すると、SNMPv3 プロトコルからのアクセスを許可します。
[オフ] を選択すると、SNMPv3 プロトコルからのすべてのアクセスを拒否します。

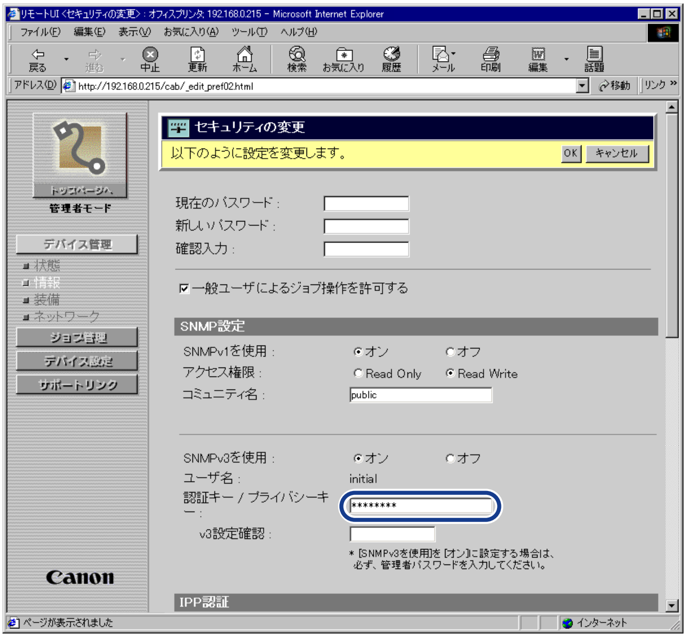


3

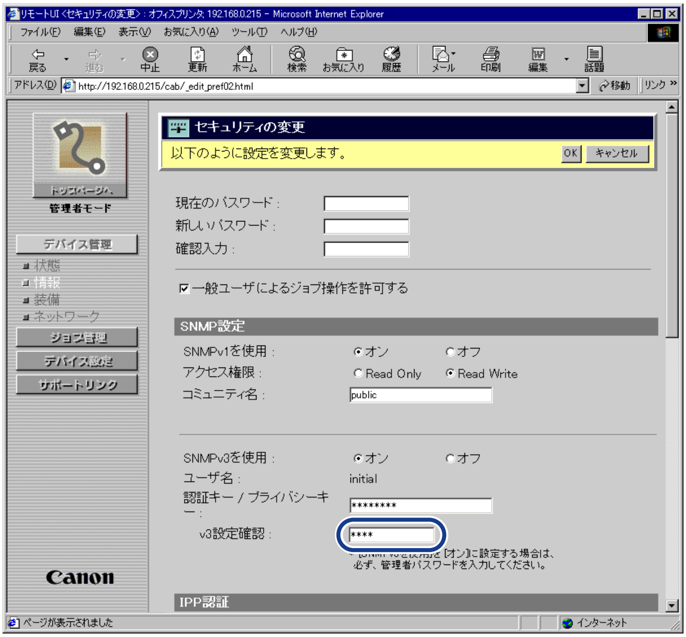
リモートUIのいろいろな機能

2 ［認証キー / プライバシーキー］に SNMPv3 で使用する認証キーまたはプライバシーキーを入力します。

［認証キー / プライバシーキー］には、15 文字までの半角英数字を入力できます。



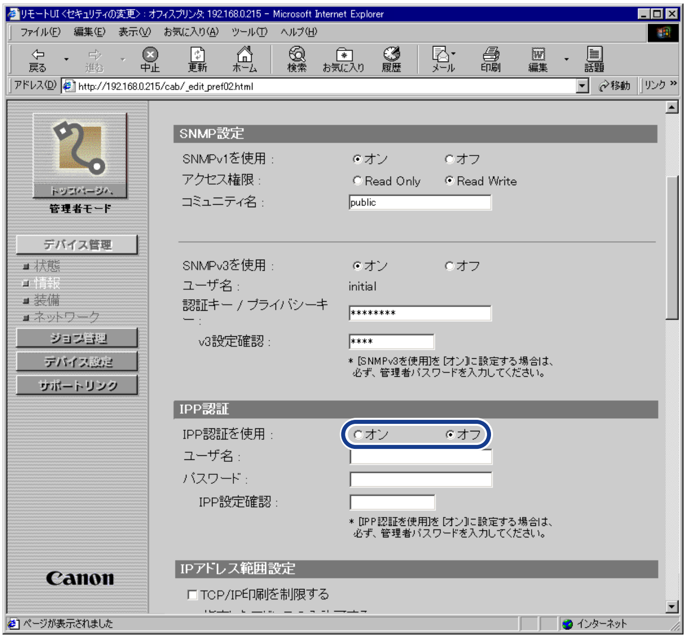
3 [SNMPv3 を使用] で [オン] を選択した場合、[v3 設定確認] にリモートUI の管理者パスワードを入力します。



■IPP 認証の設定のしかた

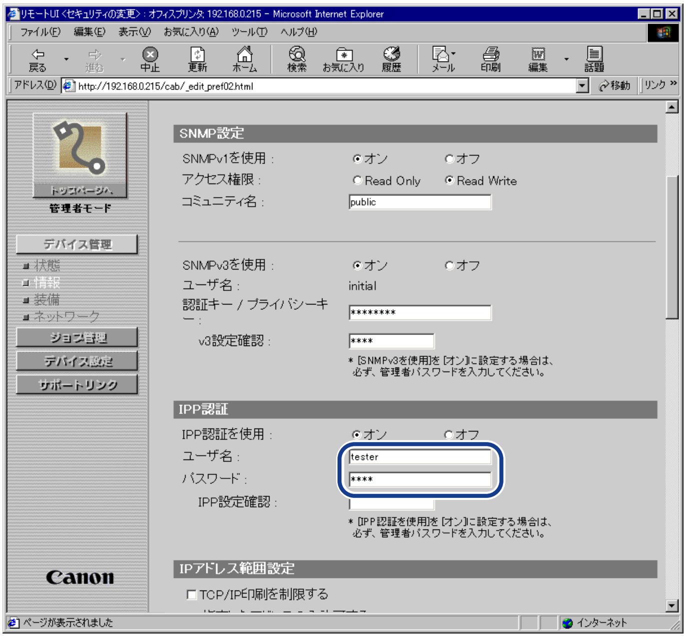
1 ［IPP 認証を使用］の［オン］または［オフ］を選択します。

［オン］を選択すると、IPP 認証を行います。［ユーザ名］および［パスワード］にて認証を行ったクライアント PC のみ、IPP でのアクセスが可能になります。
［オフ］を選択すると、IPP 認証は行いません。

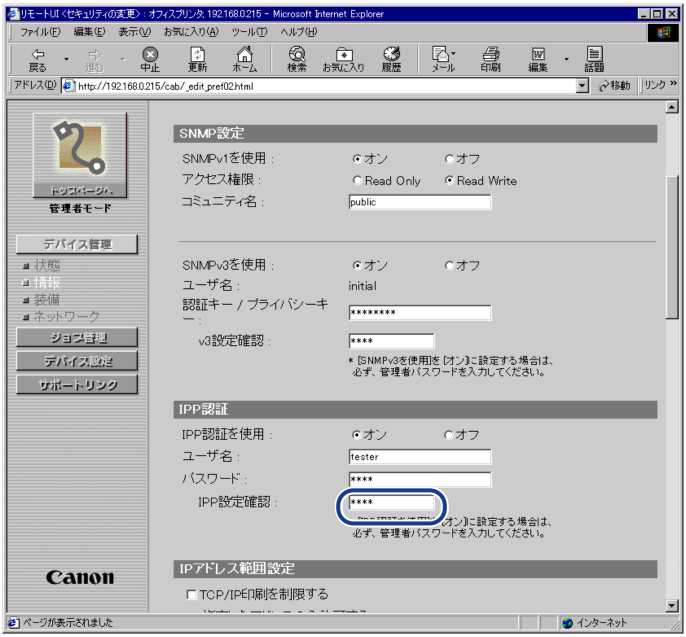


2 ［IPP 認証を使用］で［オン］を選択した場合、［ユーザ名］と［パスワード］を入力します。

［ユーザ名］、［パスワード］には、それぞれ 32 文字までの半角英数字を入力できます。



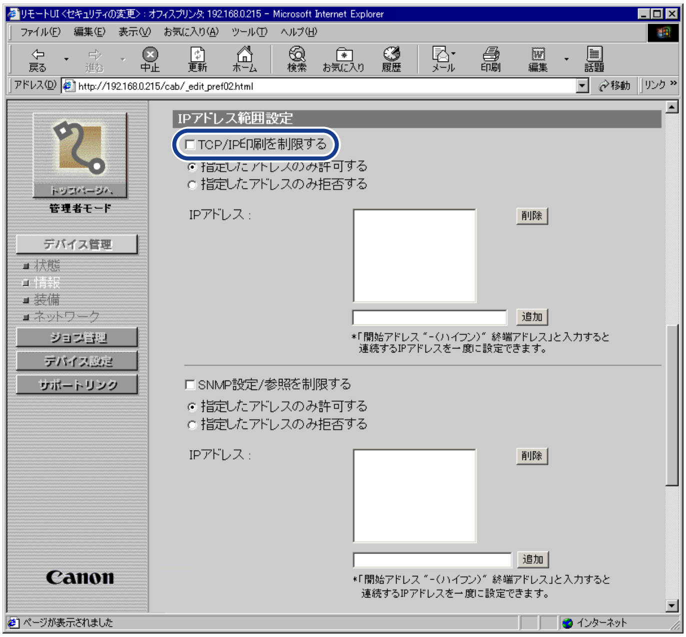
3 ［IPP 認証を使用］で［オン］を選択した場合、［IPP 設定確認］にリモートUIの管理者パスワードを入力します。



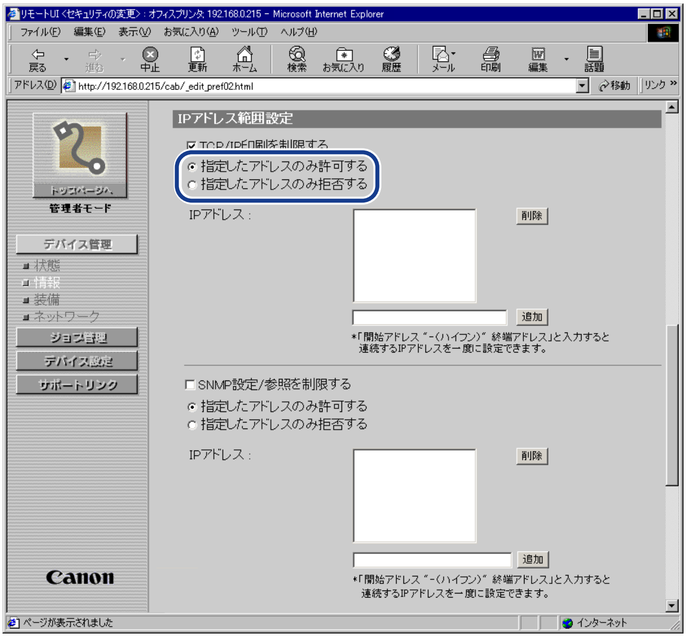
■印刷できるユーザを制限する設定のしかた

メモ　機種によっては、設定できません。

1 ［TCP/IP 印刷を制限する］にチェックします。

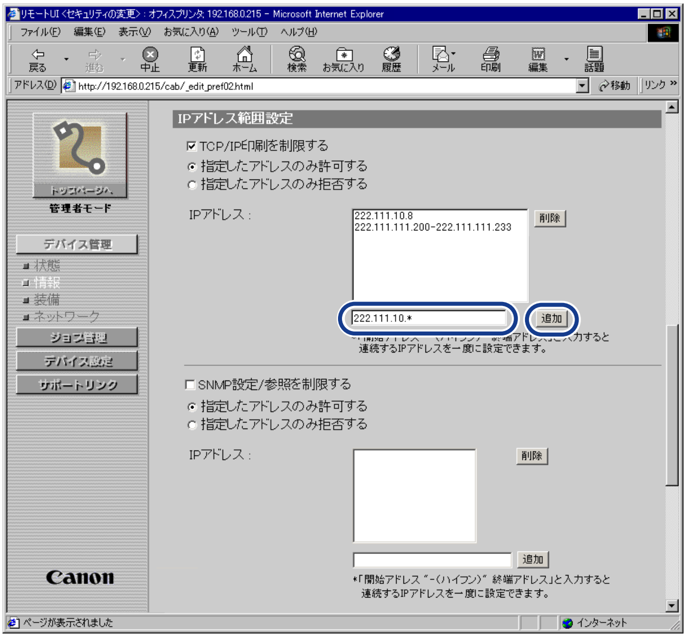


2 ［指定したアドレスのみ許可する］または［指定したアドレスのみ拒否する］を選択します。



メモ　［指定したアドレスのみ許可する］にチェックすると、［IP アドレス］で入力したユーザからのみプリントできます。［指定したアドレスのみ拒否する］にチェックすると、［IP アドレス］で入力したユーザからのプリントができなくなります。

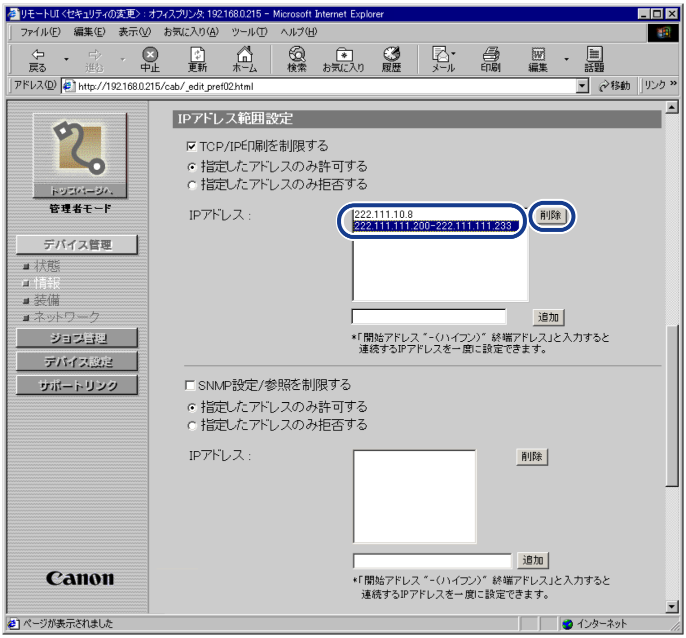
3 プリントを許可または拒否するパソコンの IP アドレスを入力して、［追加］ボタンをクリックします。



IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、以下のように入力することもできます。

IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。左記の例では AAA.BBB.C.15 ～ AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。左記の例では AAA.BBB.C.0 ～ AAA.BBB.C.255 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

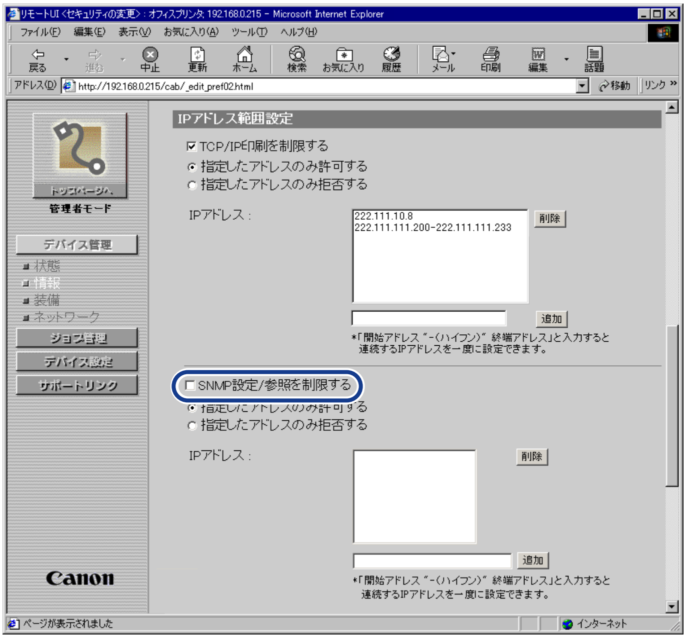
IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して［削除］ボタンをクリックします。



■SNMP プロトコルで設定 / 参照できるユーザを制限する設定のしかた

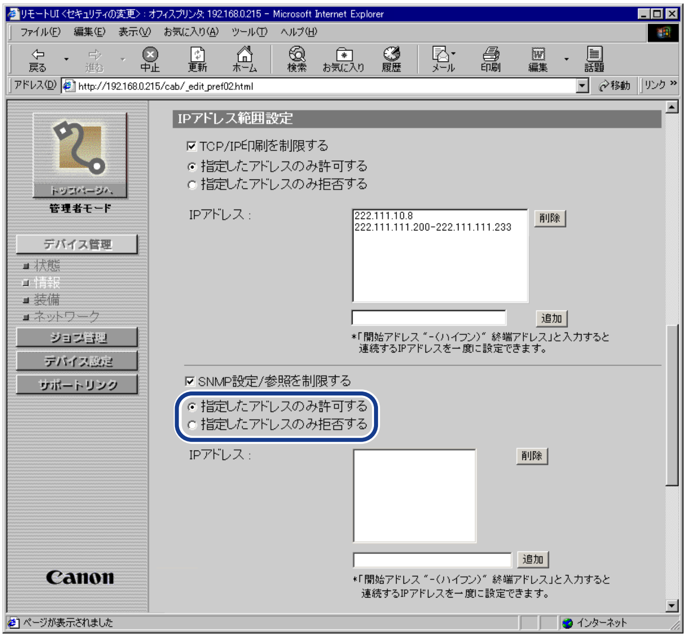
メモ
- 機種またはプリントサーバのバージョンによっては、設定できません。
- ［SNMPv1 を使用］または［SNMPv3 を使用］を［オン］にした場合にのみ有効です。（→ SNMPv1 プロトコルからのアクセス制限とコミュニティ名の設定のしかた：P.3-14、SNMPv3 プロトコルからのアクセス制限の設定のしかた：P.3-17）

1 ［SNMP 設定 / 参照を制限する］にチェックします。



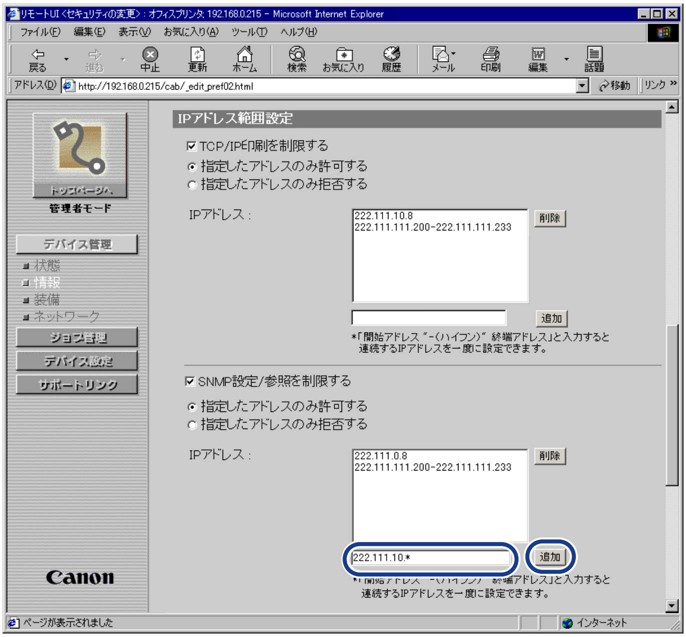
3
リモートUIのいろいろな機能

2 [指定したアドレスのみ許可する] または [指定したアドレスのみ拒否する] を選択します。



メモ [指定したアドレスのみ許可する] にチェックすると、[IP アドレス] で入力したユーザからのみ設定 / 参照できます。[指定したアドレスのみ拒否する] にチェックすると、[IP アドレス] で入力したユーザからの設定 / 参照ができなくなります。

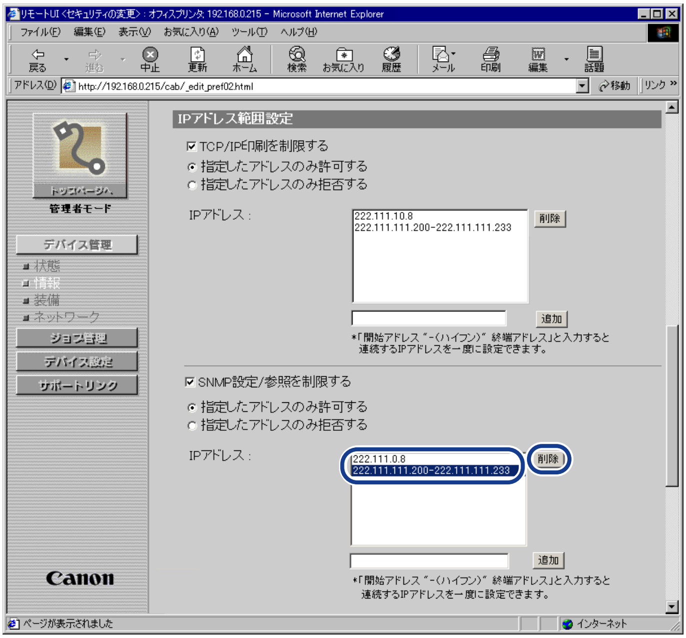
3 SNMPでの設定/参照を許可または拒否するパソコンのIPアドレスを入力して、［追加］ボタンをクリックします。



IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のように「.」で数字を区切って入力します。また、以下のように入力することもできます。

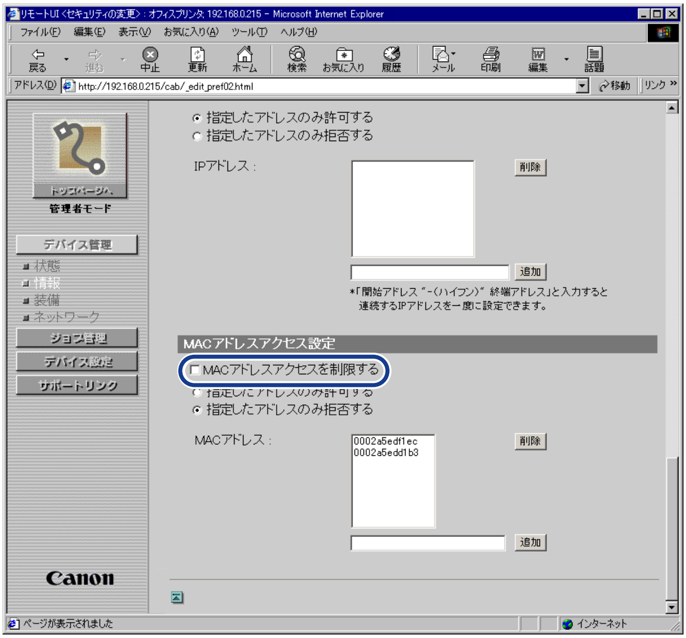
IP アドレスの入力例	IP アドレスの入力方法
AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18	連続する複数の IP アドレスを入力するときは「-」で IP アドレスをつなげます。左記の例ではAAA.BBB.C.15～AAA.BBB.C.18までのIP アドレスを入力するのと同じです。
AAA.BBB.C.*	IP アドレスに「*」を入力すると、0 ～ 255 までの数値を入力するのと同じです。左記の例ではAAA.BBB.C.0～AAA.BBB.C.255までの IP アドレスを入力するのと同じです。

IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して［削除］ボタンをクリックします。

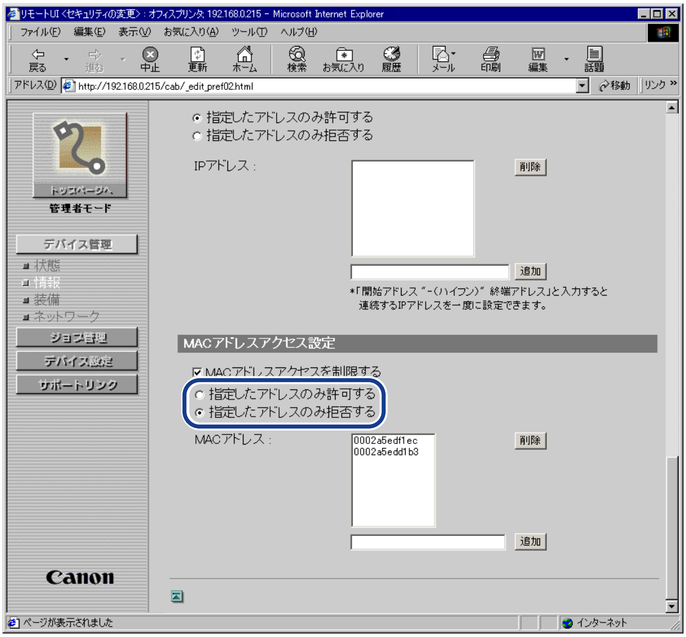


■MAC アドレスによるアクセス制限の設定のしかた

1 ［MAC アドレスアクセスを制限する］にチェックします。



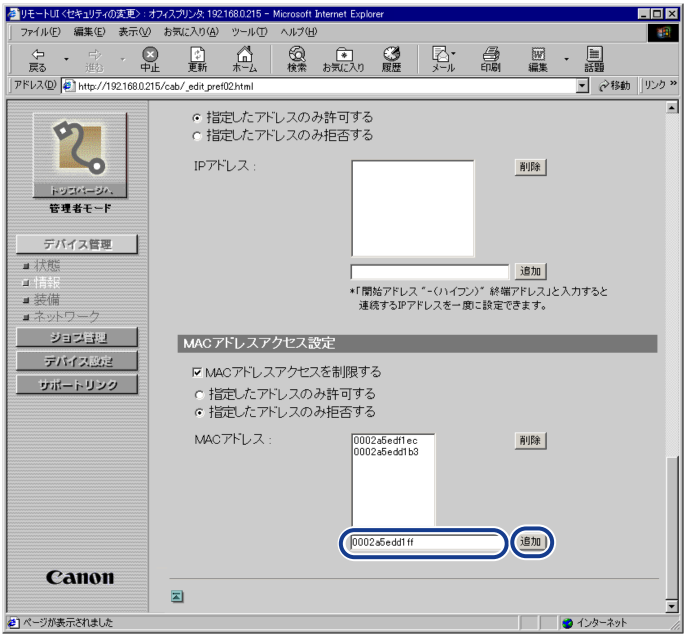
2 ［指定したアドレスのみ許可する］または［指定したアドレスのみ拒否する］を選択します。



メモ　［指定したアドレスのみ許可する］にチェックすると、［MAC アドレス］で入力したデバイスからのみアクセスできます。［指定したアドレスのみ拒否する］にチェックすると、［MAC アドレス］で入力したデバイスからアクセスができなくなります。

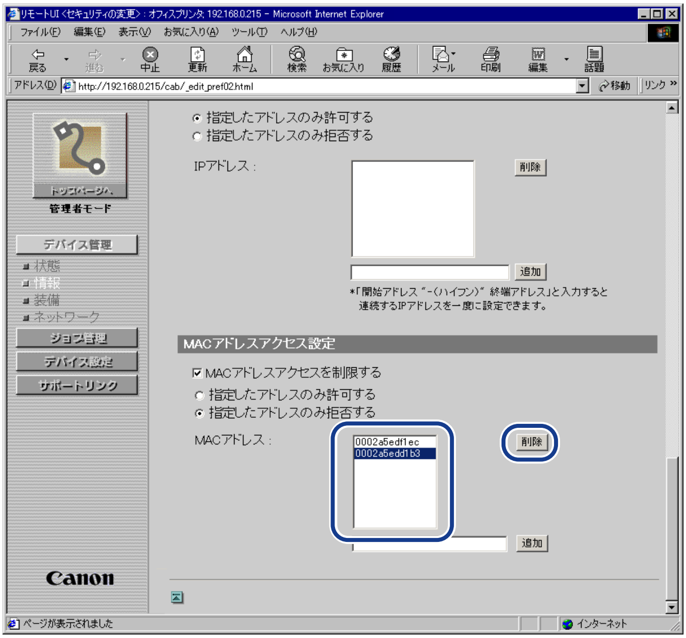
3 アクセスを許可または拒否するデバイスの MAC アドレスを入力して、［追加］ボタンをクリックします。

MAC アドレスは、12 桁の英数字を 0123456789ab のようにハイフン (-) やコロン (:) で区切らずに入力します。



メモ　［指定したアドレスのみ許可する］を選択すると、許可されていないMAC アドレスからのアクセスができなくなります。そのため入力の際には MAC アドレスをよく確認してください。誤ったMAC アドレスを設定してしまうと、プリンタにアクセスできなくなります。このような場合は、プリンタの操作パネルからプリントサーバの設定値を工場出荷時の状態に戻すことで、アクセスできるようになります。詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章　共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

MAC アドレスを削除する場合は、削除する MAC アドレスを選択して［削除］ボタンをクリックします。



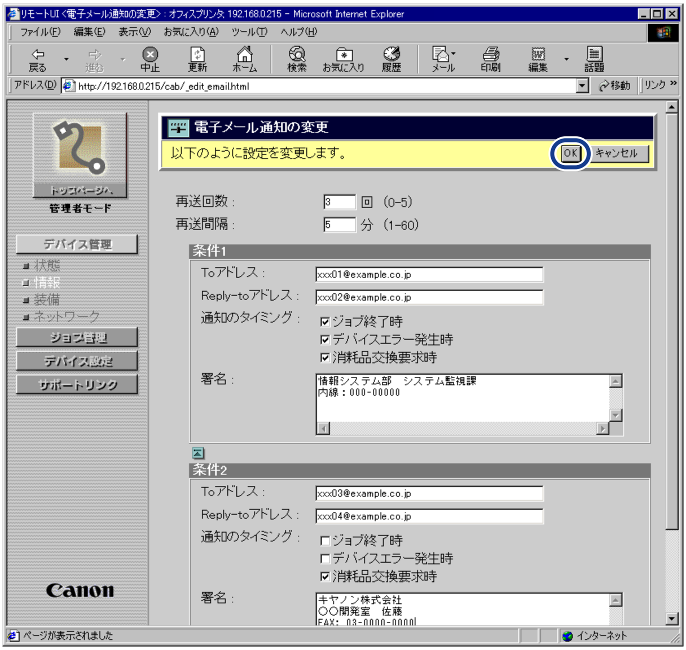
電子メール通知設定を変更する

［情報］ページで電子メール通知の［変更］ボタンをクリックすると、電子メールの通知先や条件を設定する、［電子メール通知の変更］ページが表示されます。

メモ
- 電子メール通知はプリンタの状態がここで設定した条件を満たすと、自動的に電子メールを指定した宛先に送信する機能です。条件は2種類設定できるので、宛先によって条件を変えることができます。
- 電子メール通知設定についての詳細は、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- 電子メール通知設定の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 電子メール通知設定の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

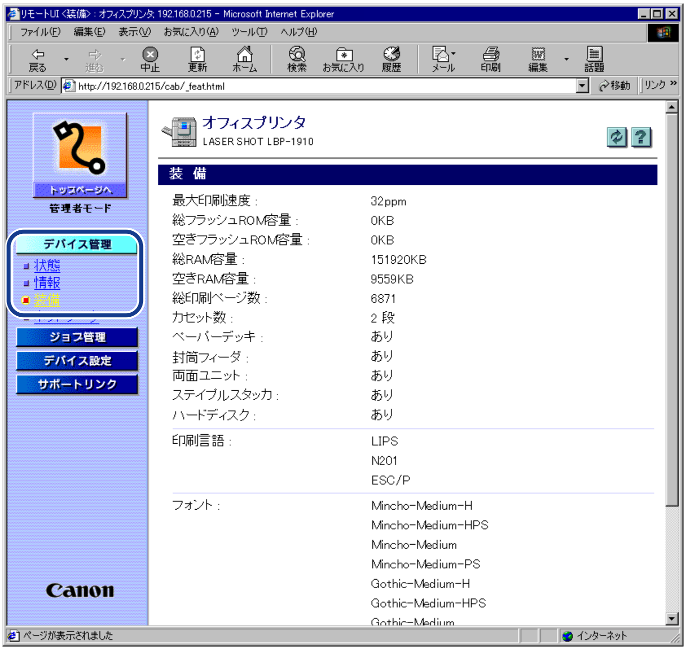


プリンタの装備を確認する

プリンタの装備や RAM の容量などに関する情報を表示します。

メモ　機種によっては、[装備] は表示されません。

1 [デバイス管理] メニューから [装備] を選択します。



デバイス管理の [装備] ページが表示されます。

ネットワーク設定を表示・変更する

ネットワーク設定を確認することができます。管理者モードでログオンした場合、ネットワーク設定の変更やプリントサーバのリセットなども行うことができます。

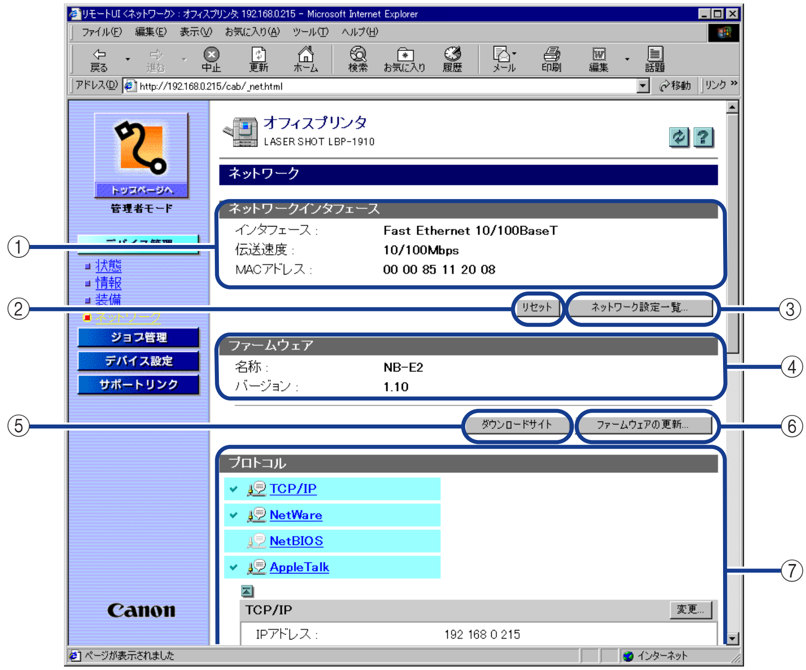
表示手順

1 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。



デバイス管理の［ネットワーク］ページが表示されます。

［ネットワーク］ページの構成



① ネットワークインタフェース
ネットワークインタフェースの情報を表示します。

② リセット
プリントサーバをリセットします。ネットワークのプロトコル設定を変更後、設定を有効にするにはこのボタンをクリックしてプリントサーバをリセットします。リセットは管理者モードのみ実行可能です。

③ ネットワーク設定一覧
プリンタの［ネットワーク設定一覧］ページを表示します。［ネットワーク設定一覧］ページでは、プリントサーバを初期化することもできます。プリントサーバの初期化は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「プリントサーバを初期化する」（→ P.3-40）を参照してください。

④ ファームウェア
現在のネットワークインタフェースの名称とバージョンを表示します。

⑤ ダウンロードサイト
ファームウェアをダウンロードするためのページが表示されます。ファームウェアのダウンロードは管理者モードのみ実行可能です。

⑥ ファームウェアの更新
ダウンロードしたファームウェアをアップデートします。ファームウェアの更新は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「ファームウェアを更新する」（→ P.3-41）を参照してください。

⑦ プロトコル
ネットワークプロトコルの設定を表示します。各プロトコルの［変更］ボタンをクリックすると、プロトコルの設定を変更するページが表示されます。プロトコル設定の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「プロトコル設定を変更する」（→ P.3-43）を参照してください。

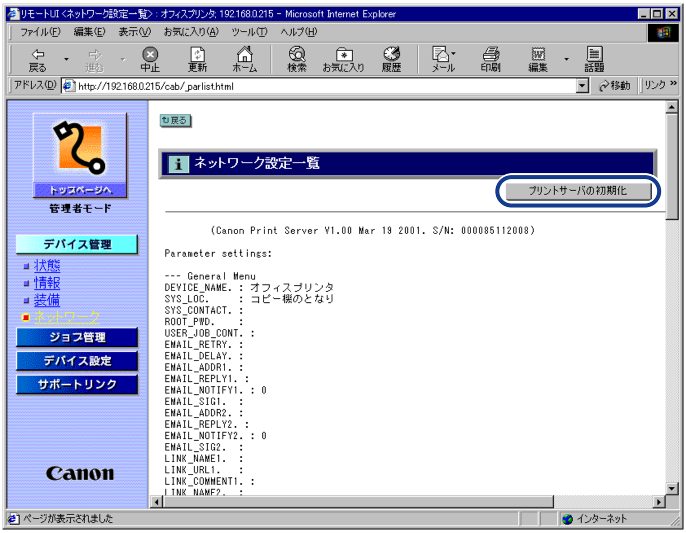
メモ
- ［ファームウェアの更新］ボタンは、機種によっては表示されません。
- ［ファームウェアの更新］ボタンが表示されない機種はファームウェアをダウンロードした場合、添付の README ファイルの記載にしたがって、ネットワークのファームウェアをアップデートしてください。
- ［ダウンロードサイト］ボタンをクリックしたときの表示先の変更は、［サポートリンク］ページ（→ P.3-62）で行うことができます。

プリントサーバを初期化する

［ネットワーク］ページで［ネットワーク設定一覧］ボタンをクリックすると、ネットワーク設定一覧が表示されます。プリントサーバの初期化をするときは、このページで［プリントサーバの初期化］ボタンをクリックします。プリントサーバの初期化をすると、ネットワーク設定を工場出荷時の状態に戻して、プリントサーバを再起動します。

重要 プリントサーバの初期化は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。プリント中やデータの受信中に行うと、受信したデータが正しくプリントされなかったり、紙づまりや故障の原因になります。

メモ プリントサーバの初期化は、管理者モードのみ実行可能です。



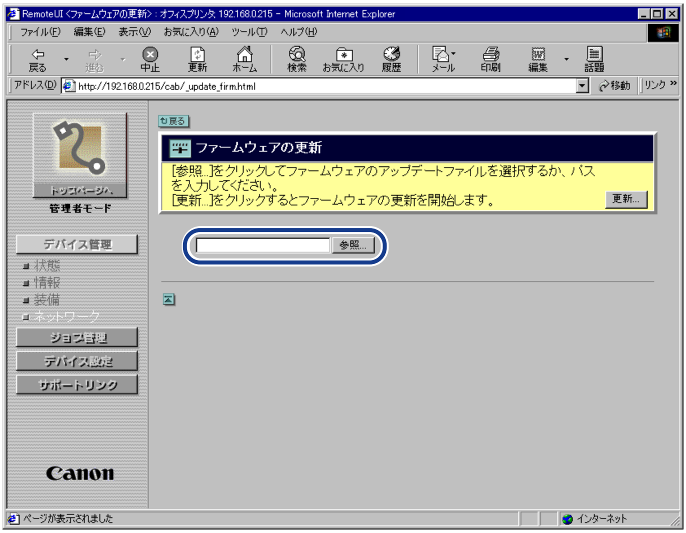
ファームウェアを更新する

［ネットワーク］ページで［ファームウェアの更新］ボタンをクリックすると、［ファームウェアの更新］ページが表示されます。ファームウェアの更新は、ダウンロードしたアップデートファイルを指定し、プリントサーバのファームウェアをアップデートします。

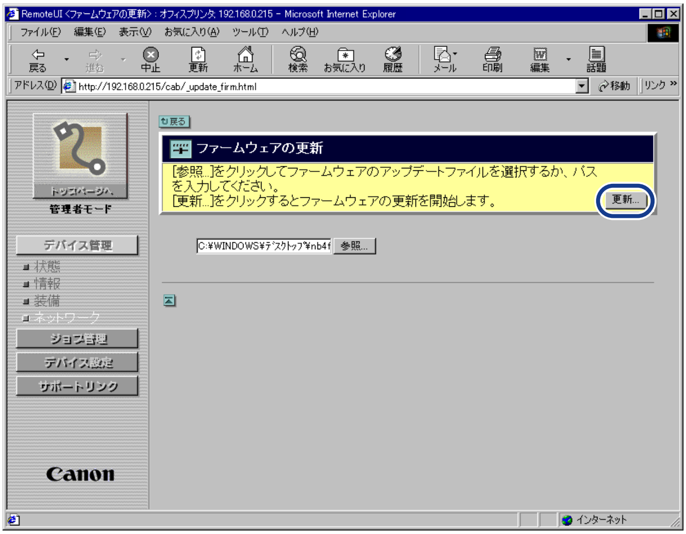
重要

- ［ファームウェアの更新］ボタンが表示されていない場合や正常にファームウェアをアップデートできなかった場合は、添付の README ファイルの記載にしたがってファームウェアをアップデートしてください。
- ファームウェアの更新は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。また、ファームウェアの更新中はプリントを行わないでください。正常にファームウェアが更新されません。

1 ［参照］ボタンをクリックしてファームウェアのアップデートファイルを選択するか、パスを入力してください。



2 ［更新］ボタンをクリックしてファームウェアを更新します。



3

リモートUIのいろいろな機能

プロトコル設定を変更する

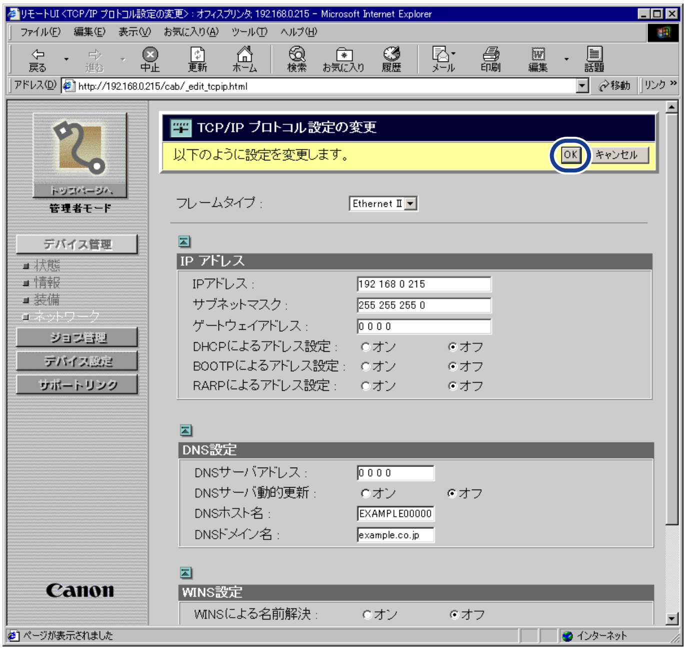
［ネットワーク］ページで各プロトコルの［変更］ボタンをクリックすると、［プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

重要 ネットワーク設定の変更後は、［ネットワーク］ページの［リセット］ボタンをクリックして、プリントサーバのリセットを行ってください。プリントサーバのリセットを行わないと、変更した設定は有効になりません。

メモ
- プロトコル設定についての詳細は、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- プロトコル設定の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 **プロトコル設定の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。**

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

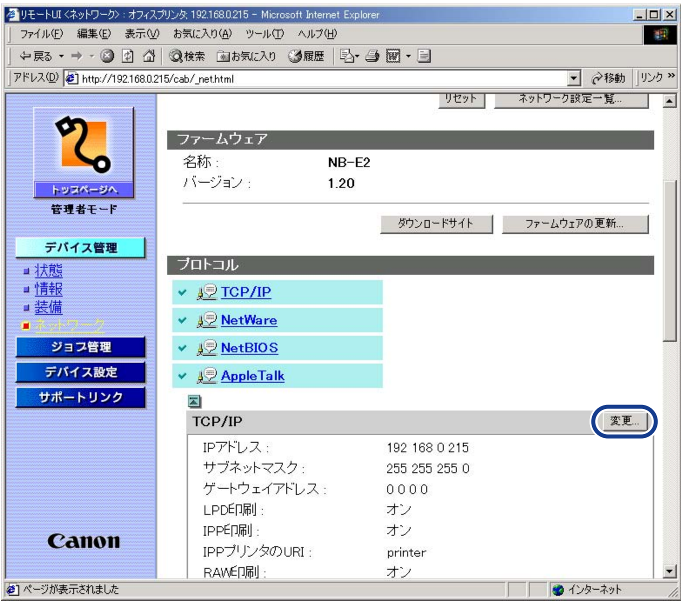


BMLinkS 設定を変更する

お使いの機種が BMLinkS に対応している場合、リモート UI から BMLinkS の設定をすることができます。

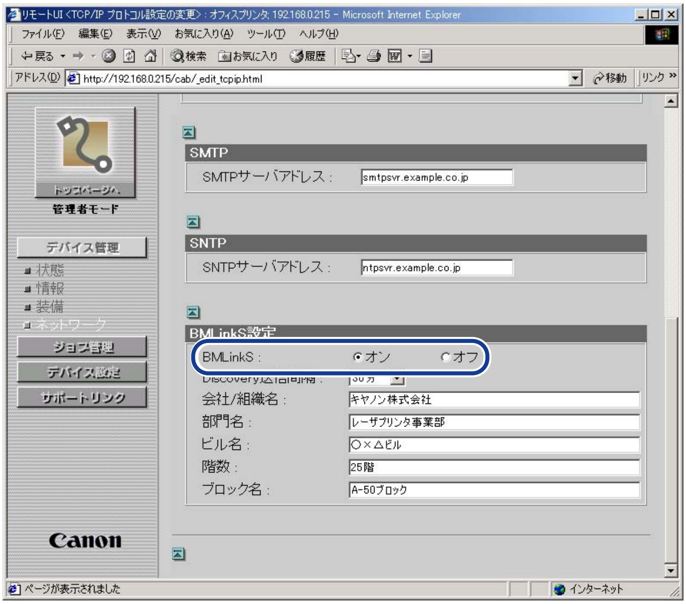
メモ　ここでは、LBP5800 の画面例で手順を説明します。

1 ［ネットワーク］ページの［TCP/IP］の右にある［変更］ボタンをクリックします。



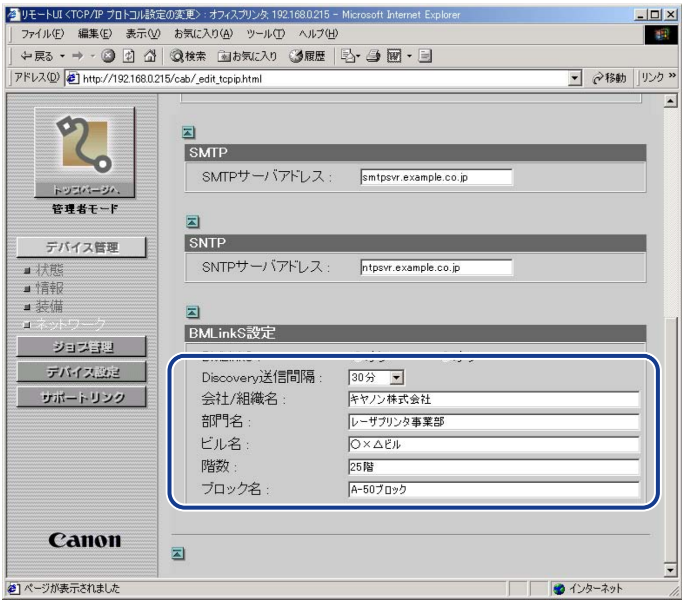
2 [BMLinkS] で [オン] または [オフ] を選択します。

[オン] を選択すると、BMLinkS が有効になります。



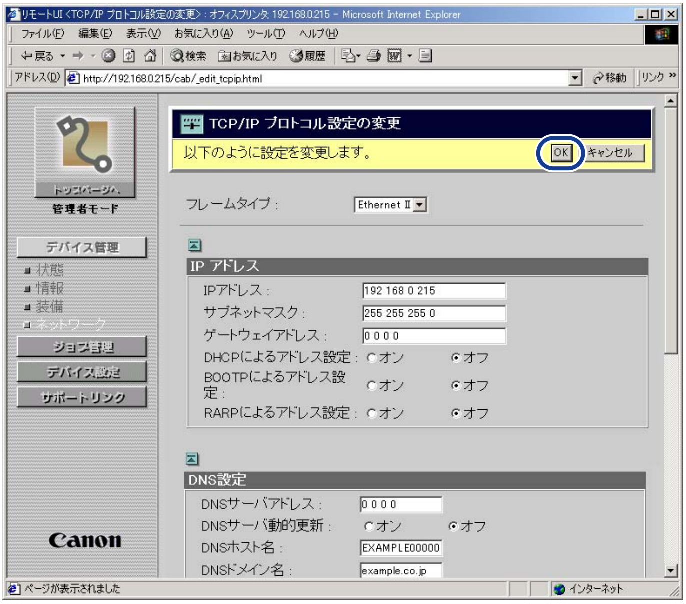
3 ［Discovery 送信間隔］で、プリントサーバがネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。

30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。

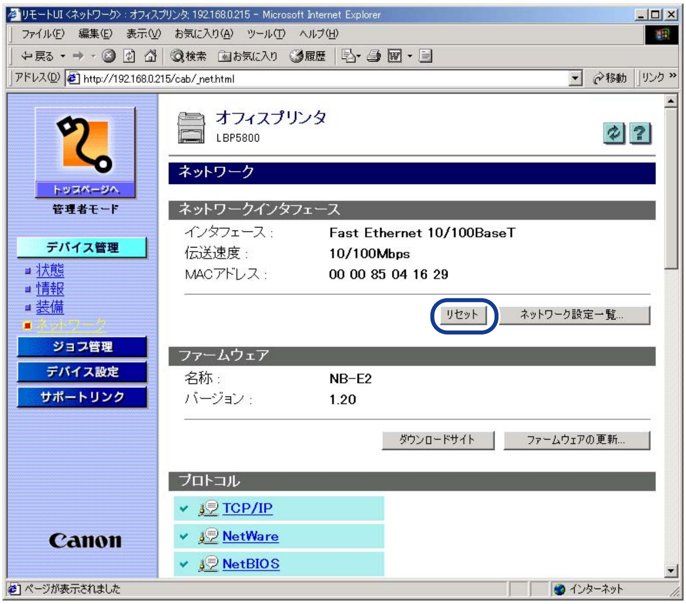


必要に応じて、［会社 / 組織名］、［部門名］、［ビル名］、［階数］、［ブロック名］を入力します。

4 設定後、［OK］ボタンをクリックします。



5 設定を有効にするために、［リセット］ボタンをクリックして、プリントサーバを再起動します。



ジョブを表示・操作する（ジョブ管理）

リモート UI では、印刷ジョブの状況を確認したり、ジョブの中止／再開などジョブの管理をすることができます。ジョブ管理は以下の 3 つのページがあります。

■［印刷ジョブ］ページ
印刷待ちや印刷中のジョブの確認・操作ができます。

■［保存ジョブ］ページ
ボックスに保存してあるジョブの確認・操作ができます。

■［印刷履歴］ページ
印刷ジョブの履歴を表示します。

重要　一般ユーザモードでログオンした場合、操作できるジョブはログオンするときに入力した名前と「オーナー名」が一致するジョブのみです。ただし、デバイス管理 ー［情報］ページの「セキュリティ」（→ P.3-11）で一般ユーザのジョブ操作を許可しているときのみです。管理者モードでログオンした場合はすべてのジョブの操作ができます。

メモ　機種によっては、［保存ジョブ］ページは表示されません。

印刷ジョブを表示・操作する

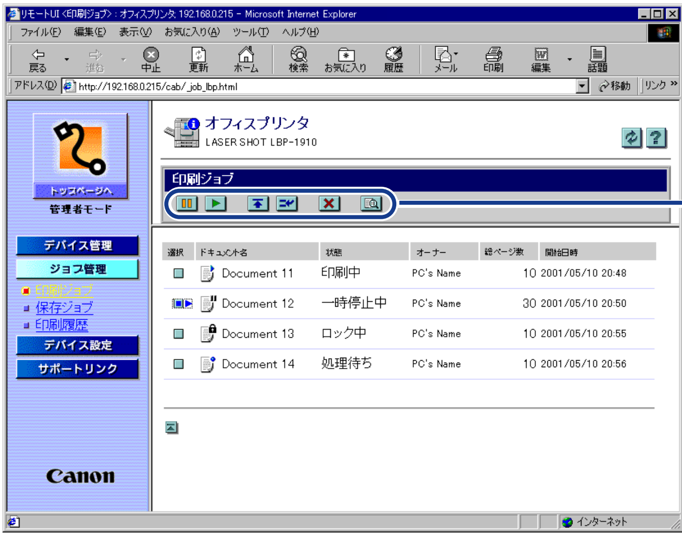
印刷待ちや印刷中のジョブの確認・操作ができます。行える操作は、一時停止、再開、追い越し、割り込み、削除です。ジョブの詳細の確認もすることができます。

1 ［ジョブ管理］メニューから［印刷ジョブ］を選択します。



メモ ドキュメント名には、ジョブのファイル名を半角で 32 文字、全角で 16 文字まで表示することができます。この範囲を超えた場合、以降の文字は表示されない、または一部の文字が正しく表示されません。また、アプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト名がファイル名の前に付加されることがあります。

2 **印刷ジョブを操作したいときは、ジョブの先頭にあるをクリックしてを付けてから、操作ボタンをクリックします。**



選択したジョブを一時停止します。一時停止できるジョブは、「状態」欄に「処理待ち」と表示されているジョブのみです。

一時停止中のジョブやロック中のジョブを印刷します。ロック中のジョブ（セキュアプリントジョブ）を印刷しようとすると、パスワードを入力するページが表示されます。パソコンで印刷時に設定したパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックするとロックが解除されプリントされます。

選択したジョブを現在印刷中のジョブの次に印刷します。（追い越し）

現在印刷中のジョブを一時中断して、選択したジョブを印刷します。（割り込み）

選択したジョブを削除します。

メモ

以外の印刷ジョブの操作は、オプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「使う」に設定されている場合のみ実行可能です。「ハードディスク」の設定は、デバイス設定－［拡張機能］ページ（→P.3-58）または、操作パネルで行います。ただし、プリントサーバ NB-4F 装着時や CP660/680 LIPS-B1 では、ハードディスクが装着されている場合でも、以外の印刷ジョブの操作はできません（CP680 LIPS-C1 ではこのような制限はありません）。

3 印刷ジョブの詳細情報を表示させたいときは、[アイコン]をクリックします。



メモ

- 詳細情報を表示できるジョブは、「状態」欄に「一時停止中」または「ロック中」と表示されているジョブのみです。
- ジョブの先頭にある[アイコン]をクリックして[アイコン]を付けてから、[アイコン]をクリックしても詳細情報を表示することができます。

3

リモートUIのいろいろな機能

4 印刷ジョブの詳細情報が表示されます。



ボックスに保存したジョブを表示・操作する

ボックスに保存したジョブの確認・操作ができます。行える操作は、再開、削除です。ジョブの詳細の確認もすることができます。

メモ　保存ジョブの表示・操作は、オプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「使う」に設定されている場合のみ実行できます。「ハードディスク」の設定は、[拡張機能] ページ（→ P.3-58）または、操作パネルで行います。ただし、プリントサーバNB-4F装着時やCP660/680 LIPS-B1では、ハードディスクが装着されている場合でも、保存ジョブの表示・操作はできません（CP680 LIPS-C1ではこのような制限はありません）。

操作手順

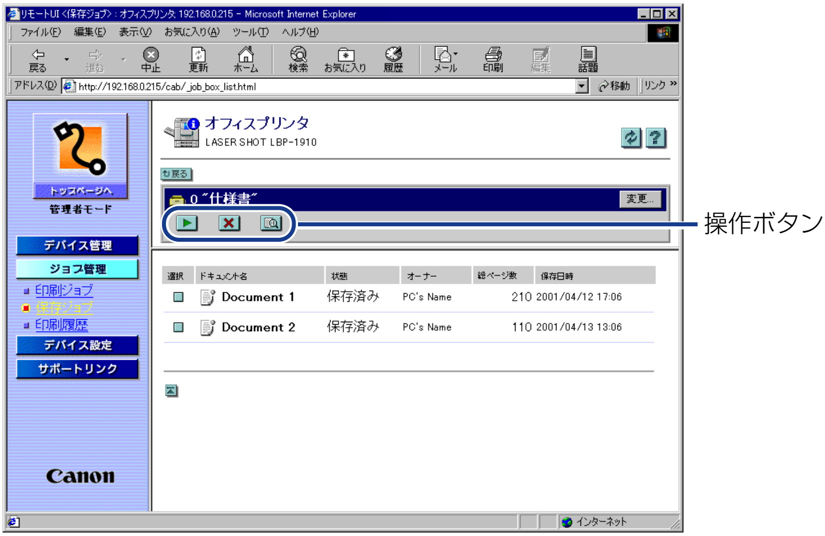
1 ［ジョブ管理］メニューから［保存ジョブ］を選択します。



2 確認または操作したいジョブが保存されているボックスを選択します。



3 保存ジョブを操作したいときは、ジョブの先頭にある□をクリックして■▶を付けてから、操作ボタンをクリックします。

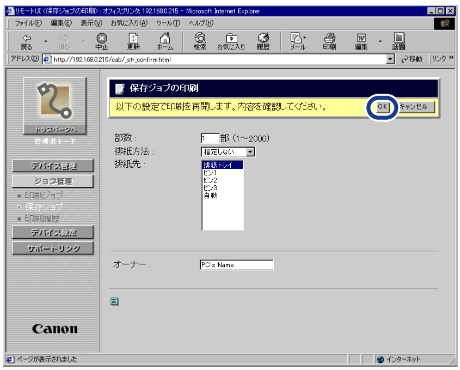


▶ 選択したジョブを印刷します。

✕ 選択したジョブを削除します。

▶をクリックするとプリント部数や排紙方法を変更するページが表示されます。

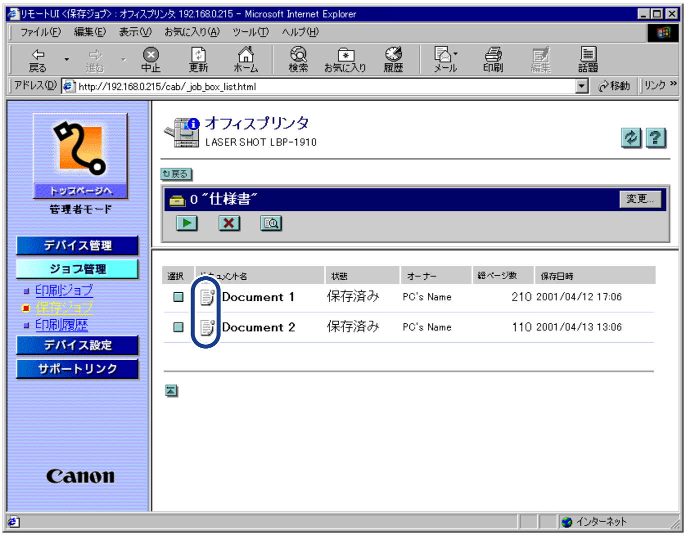
プリント部数や排紙方法、排紙先を変更して［OK］ボタンをクリックします。［キャンセル］ボタンをクリックすると、印刷しないで元のページに戻ります。



メモ

- 画面右上の［変更］ボタンをクリックすると、ボックスの名称を変更するページが表示されます。ボックスの名称の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「ボックス名称を変更する」（→ P.3-56）を参照してください。
- ドキュメント名には、ジョブのファイル名を半角で32 文字、全角で16文字まで表示することができます。この範囲を超えた場合、以降の文字は表示されない、または一部の文字が正しく表示されません。また、アプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト名がファイル名の前に付加されることがあります。
- 機種によっては、排紙方法、排紙先は選択できません。
- ボックスに保存されているジョブは、印刷しても削除されません。

4 保存ジョブの詳細情報を表示させたいときは、をクリックします。



メモ

- 詳細情報を表示できるジョブは、「状態」欄に「保存済み」と表示されているジョブのみです。
- ジョブの先頭にある□をクリックして■を付けてから、をクリックしても詳細情報を表示することができます。

5 保存ジョブの詳細情報が表示されます。



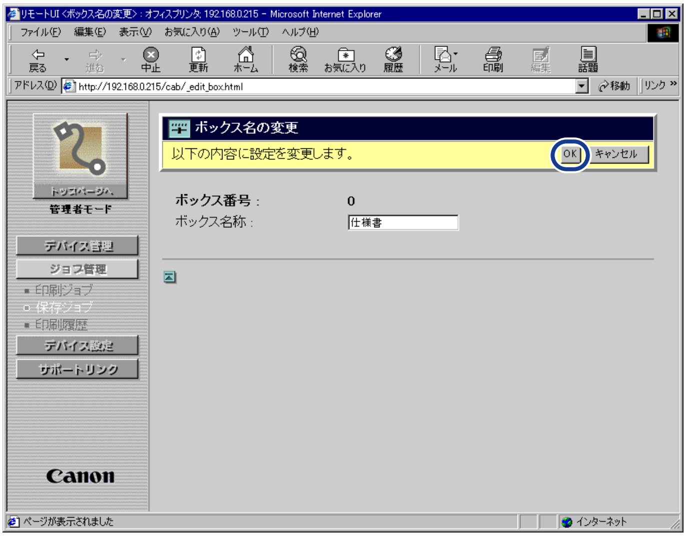
ボックス名称を変更する

ボックスのジョブを操作するページで［変更］ボタンをクリックすると、ボックスの名称を変更するページが表示されます。

メモ　ボックス名称の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 **ボックス名称の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。**

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

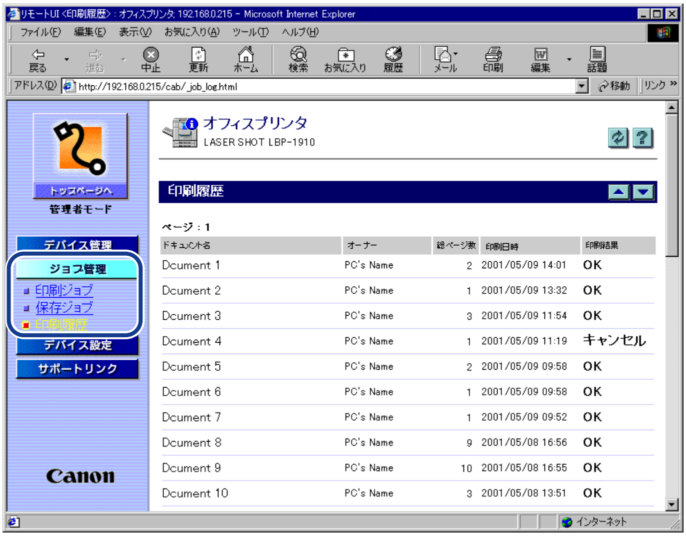


印刷履歴を表示する

印刷ジョブの履歴を表示します。

メモ　オプションのハードディスクを装着している場合、最大 128 ジョブまでの印刷履歴を確認できます。ハードディスクを装着していない場合は、32 ジョブまで確認できます。

1 ［ジョブ管理］メニューから［印刷履歴］を選択します。



メモ

- 1 ページに表示される印刷履歴は 32 ジョブまでです。33 ジョブ以上の印刷履歴がある場合は、ページ右上に ▲ ▼ が表示されます。▼をクリックすると次のページが表示され、▲をクリックすると前のページが表示されます。
- ドキュメント名には、ジョブのファイル名を半角で 32 文字、全角で 16 文字まで表示することができます。この範囲を超えた場合、以降の文字は表示されない、または一部の文字が正しく表示されません。また、アプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト名がファイル名の前に付加されることがあります。

プリンタの設定を表示・変更する（デバイス設定）

リモート UI では、プリンタの操作パネルで行う設定（プリント設定）の確認をすることができます。また、管理者モードでログオンした場合、設定の変更をリモート UI から行うことができます。デバイス設定は以下の 4 つのページがあります。

メモ　機種によっては、[デバイス設定］メニューは表示されません。

■ [拡張機能］ページ

スリープモード（パネルオフモード）、エラーが起きたときの動作などについての設定です。また、キーロックの設定もできます。（→操作パネルのキーをロックする（キーロック機能）：P.3-61）

■ [給排紙］ページ（機種によっては［給紙］ページと表示されます。）

給紙トレイからプリントするときの用紙サイズやセットするときの置きかたなどについての設定です。

■ [レイアウト］ページ

印字の位置の調整や、とじ代用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件の設定です。

■ [印字調整］ページ

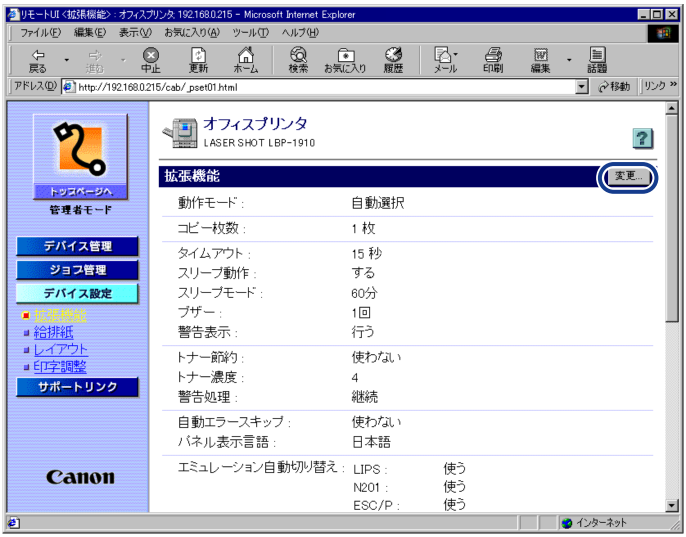
データの解像度の設定や、メモリの設定など、プリントの品質についての設定です。

操作手順

1 ［デバイス設定］メニューから設定を確認・変更したい項目を選択します。



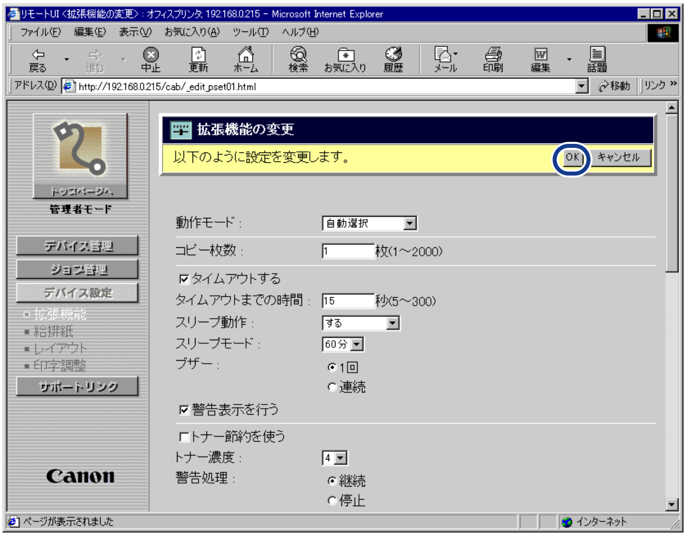
2 設定を変更したいときは［変更］ボタンをクリックします。



メモ　デバイス設定の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

3 設定を変更して［OK］ボタンをクリックします。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。



メモ

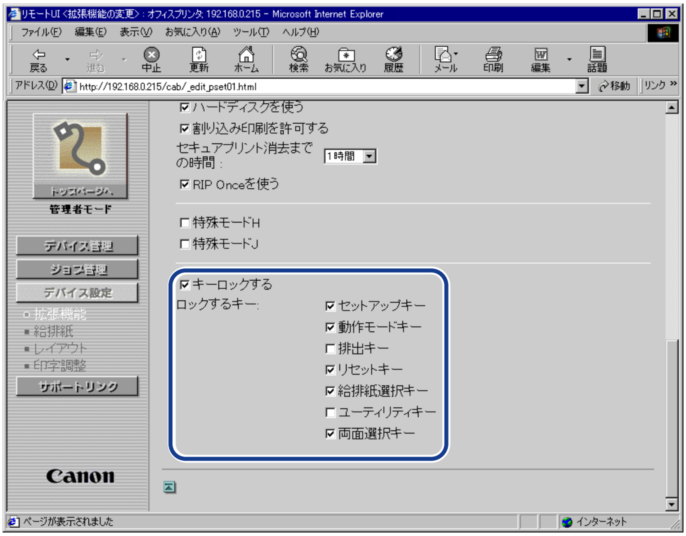
- 使用している Web ブラウザによっては、［OK］ボタンと［キャンセル］ボタンがクリックできないときがあります。このようなときは、設定の前に Web ブラウザの［再読み込み］または［更新］をクリックして、ページを表示しなおしてください。
- 設定内容についての詳細は、プリンタまたはプリンタボードに付属の取扱説明書を参照してください。

操作パネルのキーをロックする（キーロック機能）

キーロック機能を使うと操作パネルのキーをロックし、管理者以外のユーザによるプリンタ設定の変更を禁止することができます。

メモ
- 機種によっては、キーロック機能は設定できません。
- ロックしているキーを押すとピーという警告音が鳴り、プリンタのディスプレイに「キーロック　チュウ」と表示されます。
- キーロック機能は、操作パネルのキーを使用していないときに設定してください。キー操作中にキーロック機能を設定した場合は、キー操作終了後にキーロック機能が有効になります。
- 各キーの内容については、「LIPS 機能ガイド」を参照してください。

1 ［キーロックする］にチェックして、ロックするキーにチェックします。



リンク先を表示・変更する（サポートリンク）

リモート UI では、プリンタのサポートに関する情報へのリンクが設定されていて、必要なときにリモート UI 上からアクセスできるようになっています。また、管理者モードでログオンした場合、リンク先の変更も行うことができます。

表示手順

1 [サポートリンク] をクリックして表示したいリンク先をクリックします。



設定してあるリンク先のページが表示されます。

メモ

- 右上の［編集］ボタンをクリックすると、リンク先を変更するページが表示されます。リンク先の変更は管理者モードのみ実行可能です。詳しくは、「リンク先を変更する」（→ P.3-63）を参照してください。
- リンク先の数はプリントサーバNB-4F装着時やCP660/680 LIPS-B1 では2つになります（CP680 LIPS-C1 ではこのような制限はありません）。

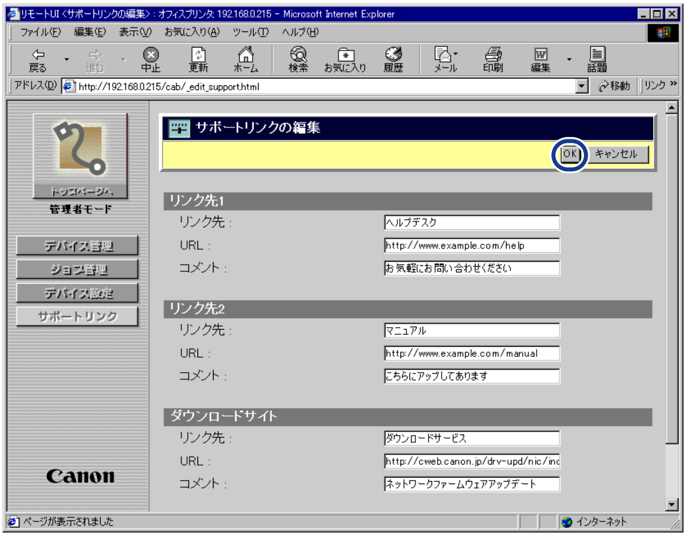
リンク先を変更する

［サポートリンク］ページで［編集］ボタンをクリックすると、リンク先を変更するページが表示されます。リンク先、URL、コメントの変更が可能です。

メモ　リンク先の変更は、管理者モードのみ実行可能です。

1 リンク先の変更後、［OK］ボタンをクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。



メモ

- 「ダウンロードサイト」欄の設定は、デバイス管理 -［ネットワーク］ページ（→P.3-38）の「ファームウェア」の［ダウンロードサイト］ボタンをクリックしたときのリンク先になります。
- リンク先の数はプリントサーバNB-4F装着時やCP660/680 LIPS-B1では2つになります（CP680 LIPS-C1ではこのような制限はありません）。

付録

4
CHAPTER

索引

は

や

ら

4
付録

Canon

FA7-5359 (000)